



**WORLD
ATHLETICS™**

持続可能なイベント管理：ベストプラクティスガイダンス

バージョン 1.0 - 2021 年 11 月

目次

目次.....	1
1. 持続可能なコミットメント.....	3
ビジョン	3
目標	3
グローバルイニシアチブ.....	3
持続可能性戦略	4
1. スポーツ選手のリーダーシップ	4
2. 持続可能な生産と消費	4
3. 気候変動と炭素.....	5
4. ローカル環境と大気汚染度（大気の質）	5
5. グローバルな平等.....	6
6. 多様性、アクセシビリティ、幸福・健康	6
ベストプラクティスガイダンスの使用.....	6
2. 持続可能性プランを作成する.....	9
3. 持続可能な調達.....	11
4. 廃棄物管理.....	15
廃棄物のプラン作成	15
廃棄物の発生と廃棄物の流れ.....	15
廃棄物管理	16
廃棄の伝達	18
モニタリングと報告	18
5. エネルギー管理.....	21
カーボンフットプリントの測定と優先化.....	21
エネルギー管理のプラン作成.....	21
6. 食品管理.....	24
7. 水管理.....	27
8. 移動プラン作成.....	29

移動・旅行・出張のベストプラクティス	30
世界陸上競技連盟事務局への公共交通機関のリンク例	32
9. 宿泊施設.....	33
10. カーボンニュートラル	35
11. 大気の質/大気汚染（度）	37
12. 多様性、アクセシビリティ、包含性.....	41
13. 健康、安全、幸福.....	43
14. デジタル、知的財産権、データ保護.....	45
15. モニタリングと報告.....	47
16. コミュニケーション.....	48
コミュニケーション（伝達）目的.....	48
異なる利害関係者へのコミュニケーション（伝達）方法	49

ドキュメントバージョン管理

本ドキュメントは世界陸上競技連盟に代わって、内部イベントチームとローカル組織委員会による使用を目的とし、大会全体に持続可能性をもたらすために Earth to Ocean が草案したものです。

更新	更新	発行元
2021 年 11 月	パイロット版最終	BR/ST

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベントのベストプラクティスガイド

1. 持続可能なコミットメント

世界陸上競技連盟は、世界各地で開催される陸上競技大会およびモナコを拠点とする本部が、持続可能性の原則に完全に沿うよう尽力します。なぜなら、次のことを認識しているからです、これらに限定されません：世界が今日直面している環境問題、特に大気汚染、気候変動、資源や原材料の過剰消費、管理されずに物質を環境に放出すること、および不平等な世界を作り出している、世界的な平等と多様性の社会問題。これらすべての世界的な問題は人間の生活とコミュニティの質に深刻な脅威を呈しています。

陸上競技における持続可能性とは、以下のような形でスポーツを発展させる個人および組織の実践と行動を促進することと定義されます。

- 未来の世代へ配慮する、
- 健全な倫理原則に基いた公正で公平なスポーツプラットフォームを提供する、
- 利害関係者に積極的に関与してもらい、意思決定や活動内容をオープンにする、
- 社会、経済、環境への影響に対してバランスの取れた行動を取るようになる。

持続可能性とは、活動において経済的、社会的、環境的なバランスをとりながら、将来の世代のニーズを損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすことを意味します。健全な環境は健全な社会の基盤であり、経済が回復する力の支えとなるものです。

ビジョン

私たちの持続可能性のビジョンは、他をけん引する国際スポーツ連盟になり、最高品質の持続可能な大会を開催することです。

目標

力強い持続可能性戦略を導入することで、世界陸上とそのパートナー組織は、環境、社会、経済の持続可能性の 3 本柱において具体的なメリットを提供するための枠組みを作ることができます。主なメリットは次のとおりです：

- スポーツ社会と環境のリスク要因を適切に管理する；
- スポーツのためになる機会を特定し、幅広く多くの利害関係者に関与してもらう；
- リソースをより効率的に使用し、運営コストを削減して、スポーツへの投資を拡大する；
- 地域社会に経済的、社会的、環境的な利益を多くもたらす、パートナーシップの広範な活性化プラットフォームとなる。

持続可能性戦略は、持続可能な未来に向けて陸上競技を促進し、世界のためにより良い貢献をするという、世界陸上競技連盟のコミットメントを定めたものです。これには、ある地域では、「通常業務」の変更が必要となり、またある地域では、影響力と仕様が必要となり、他の地域では、拡張可能な変化を実現するためのパートナーシップの構築が必要となるでしょう。

グローバルイニシアチブ

拡張可能性を実現するために、私たちの戦略は、国連の持続可能な開発目標（UN-SDG またはグローバル目標）、国連気候変動（UNCC）気候行動枠組み、国連環境クリーンエア、IOC 持続可能性枠組みなどのグローバルなイニシアティブと連携します。

持続可能な開発のための国連 2030 アジェンダは、現在、そして未来に向けて、人類と地球の平和と繁栄のために共通の青写真を提供するものです。アジェンダの中心は 17 の持続可能な開発目標（SDGs）であり、先進国、途上国を問わず、すべての国がグローバルなパートナーシップのもとで迅速に行動を起こすことを求めています。これらは、貧困やその他の剥奪を終わらせ、健康と教育を改善し、不平等を減らし、

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベントのベストプラクティスガイド

経済成長を促進する戦略と同時に、気候変動に取り組み、海や森林を保護するために努力しなければならぬという認識に他なりません。

「オリンピック・アジェンダ 2020」は、「オリンピック・ムーブメント」の未来に向けた IOC の戦略的ロードマップです。40 の提言はジグソーパズルのピースのようなもので、それらを組み合わせると、IOC がオリンピックの独自性を守り、社会においてスポーツを強化することを示す絵が完成します。IOC は、オリンピック・ムーブメントを通じて国連の持続可能な開発目標 (SDG) の実現を支援し、17 の SDG のうち 11 に取り組むことを約束しています。

持続可能性戦略

私たちは、持続可能性戦略を実行することで、目標を達成します。これは以下の 6 つの持続可能性の優先事項と、それに関連する目標の上に構築されています：

重要優先事項		目的
1	リーダーシップと持続可能性	スポーツの持続可能性において世界が認める推進力となる
2	持続可能な生産と消費	調達の影響を適切に管理する
3	気候変動と炭素	2030 年までにカーボンニュートラルへ移行
4	ローカル環境と大気汚染度 (大気の質)	個人が安全に参加できる環境を作る
5	グローバル品質	実証的に世界中でスキルを共有する

6	多様性、アクセシビリティ、幸福・健康	スポーツ選手がすべての人にオープンになれるようにする
---	--------------------	----------------------------

表 1: 世界陸上競技連盟の持続可能性の優先事項と、それに関連する目的

1. スポーツ選手のリーダーシップ

世界陸上競技連盟は、その活動に責任を持ち、持続可能性戦略の開発と実施を約束することで、より持続可能な未来への移行に積極的に取り組み、技術、大会、運営全般にわたって何が可能かを示し、確固たるリーダーシップを発揮しなければなりません。国際的な連盟が持続可能性に取り組む場合の強みは、既存の許可、ライセンス、会場の選定、世界選手権大会の招致システムを通じて、幅広い活動を展開できることです。

2. 持続可能な生産と消費

材料のライフサイクルの最適化や廃棄物の削減、およびサプライチェーンの問題を管理することは、最も効果的な持続可能性の重点テーマとなります。これは、製品やサービスに適用される、持続可能な調達方針の作成と実施からスタートします。持続可能性の目標の達成を支援してもらえるサプライヤーを特定することは、非常に重要です。

廃棄物の管理は、世界陸上競技連盟にとって最も重要な課題の 1 つです。プラスチックの残留と使い捨て文化の問題には、調達段階での材料の仕様に取り組む必要があります。しかし、これにはさまざまな地域で実施可能な廃棄物管理と連携する必要があります。

廃棄にはコストがかかり、多くの場合、不必要です。調達の際には、製品がどこから来たのか、生産と使用における影響は何か、どのように廃棄されるのか、あるいは再利用は可能か、といった質問をする必要があります。

持続可能な調達の主要分野は、大会の仮設構造物、設備と衣料、エネルギーと電力、食料、移動と輸送、大会 (イベント) を開催する会場/スタジアムです。

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベントのベストプラクティスガイド

3. 気候変動と炭素

世界的に炭素の排出が加速し、気候変動がすでに私たちの生活に影響を及ぼしています。陸上競技はグローバルなスポーツであり、気候の変化によって最も影響を受ける地域に最高レベルのアスリートが暮らしています。例えば、食料の安全が脅かされているなどです。陸上競技、特に主要な世界選手権大会は、大きな二酸化炭素を排出すると同時に、必要とされる低炭素経済への大きな変化を促すことも可能です。これらの排出は、移動、大会の仮設電源、スタジアムや会場でのエネルギー消費、機器の製造からなど、多岐にわたります。

世界陸上の事業活動は、トレーニング、競技、会議など、内外を問わず、すべての関係者が長距離の移動を必要とします。スポーツを通じて人々を結びつけるためには、移動が不可欠ですが、移動に伴う二酸化炭素の排出は、スポーツに関連する主な環境への負担となっています。

炭素排出を管理すべき主な5つの分野は次のとおりです：

1. 移動、宿泊施設、輸送
 - 世界陸上競技連盟の従業員/職員、選手、監督・コーチの航空機による移動
 - 公用車と公共交通機関を含む陸地での移動
 - 宿泊施設
 - 船による移動
2. エネルギー消費
 - 常設・仮設会場や本部/事務局で使用する仮設電源、暖房、照明、冷房、電力
3. リソース
 - 持続可能な生産と消費が焦点となる分野で検討
4. 食料と飲料
 - 持続可能な生産と消費が焦点となる分野で検討
5. 廃棄物
 - 持続可能な生産と消費が焦点となる分野で検討

4. ローカル環境と大気汚染度（大気の質）

大気汚染は健康と気候の両方にとって大きな脅威となっています。世界保健機関（WHO）の新しいデータによると、10人中9人が高レベルの汚染物質を含む空気を吸っており、大気汚染に関連する死亡の90%以上は、主にアジアとアフリカの低・中所得国で発生していることが分かっています。大気汚染は、汚染された空気に含まれる微粒子が肺や循環器系の奥深くまで入り込み、脳卒中、心臓病、肺癌、慢性閉塞性肺疾患、肺炎をはじめとする呼吸器感染症などの病気を引き起こし、毎年約700万人が死亡すると推定されています。

大気の質は地球の気候および世界の生態系と密接に関連しています。大気汚染を引き起こす要因の多く（例：化石燃料の燃焼など）は、高濃度の二酸化炭素を排出する原因でもあります。オゾンやブラックカーボンなど一部の汚染物質は残存期間が短い気候汚染物質ですが、気候変動に大きく影響し、農業生産性にも影響を及ぼします。

大気汚染を減らすための行動や政策は、気候変動と健康の両方にとって「ウィンウィン」の戦略であり、大気汚染に起因する疾病の負担を減らし、気候変動の短期・長期的な抑制に貢献するものです。

世界陸上競技連盟は World Athletics Series (WAS) 大会を所有していました。世界陸上競技選手権大会は、地域の交通に大きな支障をきたすことがよくあります。これは同様に、大気の質に問題を引き起こすことにもなります。世界陸上競技連盟は、空気の質を監視および/または改善するために、英知のある計画とイニシアチブを統合し、選手、世界陸上関係者、ファン、地域社会にとって健康的な環境を作り、保護します。

世界陸上競技連盟には世界の5億人以上のランナーから構成される非公式なネットワークがあり、大気汚染が健康に与える影響について世界的な認識を促進する独自のポジションに立っています。

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベントのベストプラクティスガイド

5. グローバルな平等

世界陸上競技連盟のコアバリューのひとつである「ユニバーサリティ」に沿って、世界陸上競技連盟は、すべての人に陸上競技に参加する機会を保証する責任を担っています。これは、個人に適用されるだけでなく、加盟連盟が世界陸上競技連盟の支援と認知を受ける機会を持つことにも適用されます。この機会を、調達、メンタリング、世界的な不平等の溝を埋める技術を養うことができようになるため、非常に重要です。

世界陸上競技連盟は、「世界をいっそう良くするための陸上競技」に力を入れ、健康、環境、社会包含性、平和の各分野のプロジェクトで相乗効果を高めることにより、利害関係者が自らの活動に価値を付加できるよう、リーダーシップを発揮することができます。

6. 多様性、アクセシビリティ、幸福・健康

世界陸上競技連盟は、長年にわたり、競技への平等な参加を支持する国際的な連盟を率いてきました。世界陸上競技連盟は、2027年までに男女平等の代表を理事会に含めることを約束し、これを達成するためのロードマップに沿い、男女平等について率先して行動しています。

多くの国籍、体格、性別、人種、宗教がスポーツ界で受け入れられている一方で、特にテクニカルオフィシャル、レフリー、ジャッジ・審判などがスポーツ界に定着し、発展していくことに関連しては、バランスが取れていない状況があります。世界陸上競技連盟は、参加者全体でのプログラムの実施に加え、スポーツ選手の多様性を実現するための改革を実行し、スポーツの中でそれを維持することに焦点を当て、十分な指針を作り、テクニカルオフィシャルを含むスポーツガバナンスへの包含性の道を開拓しなければなりません。

世界陸上競技連盟は、スポーツにおけるジェンダーの不均衡を認識し、草の根レベルでの参加から運営やガバナンスに至るまで、あらゆる段階で熱意をもってこの問題に取り組み、スポーツ界全体の平等と包含の問題に対処し続けています。

世界陸上競技連盟の注意義務は陸上競技に参加する選手とその関係者を通し、直接連盟に関与する者の枠を超えて適用されます。これはまた、ボランティア、スポーツインフラを構築する建設作業員、陸上競技団体や大会に商品やサービスを提供するサプライヤーで働く人々にも適用されます。人は、仕事を理由に生命や健康を脅かされたり、差別や強制労働などの虐待を受けることがあってはなりません。

世界陸上競技連盟は、公正、安全、健康的で、差別のない労働環境を約束し、トレーニング、教育、ポジティブなワークライフバランスへ促進を奨励します。

地理、政治、宗教に関係なく、すべての人は、あらゆるレベルにおいて、スポーツの成果を助長する環境の中で、言葉や身体的虐待を恐れることなく陸上競技に参加することができる平等な権利を有しています。世界陸上競技連盟は、走ること、跳ぶこと、投げるのが普遍的に楽しめるように、加盟連盟を通じて、ベストプラクティスのガイドラインを提供し、運動への影響力を高めていきます。

ベストプラクティスガイドの使用

この持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイドは、「計画、実行、確認、行動」のフレームワークに沿って持続可能性のトピックに分類されており、明確で実行可能なチェックリストを提供するために作成されました。イベント全体の責任者は、すべての関連する法律と、必要なベストプラクティスの行動に精通し、イベントの計画と提供のすべての面においてベストプラクティスを取り入れ、「通常通りのビジネス」に新しく適応し、イベント提供チームをサポートしなければなりません。各セクションを必要に応じて抽出してチームメンバーに配布し、ベストプラクティスに従って責任を持って自分の役割を果たすことができるようにしてください。表2は、ベストプラクティスのトピックのうち、世界陸上競技連盟が特定した持続可能性の優先事項に従い、またそれに対応しているものの詳細を説明しています。



世界陸上競技連盟: 持続可能なイベントのベストプラクティスガイダンス

これを読む前に、[こちら](#)から持続可能性に関する世界陸上競技連盟のEラーニング・モジュール（4部構成）を完了させることをお勧めします。登録は無料です。登録およびログイン後に[こちらから直接アクセス](#)できます。

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理のベストプラクティスガイダンス

表 2 : 世界陸上競技連盟の持続可能性の優先事項に取り組むベストプラクティスのトピック

持続可能性の優先事項	持続可能性プランを作成する	ベストプラクティスのトピック													
		持続可能な調達	廃棄物	エネルギー	食料	水	移動	宿泊施設	カーボンニュートラル	アクセシビリティと包含性	健康、安全、幸福	デジタル、知的財産権、データ保護	モニタリングと報告	コミュニケーション	
リーダーシップと持続可能性	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
持続可能な生産と消費	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
気候変動と炭素	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
ローカル環境と大気汚染度 (大気の質)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
グローバル品質	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
多様性、アクセシビリティ、幸福・健康	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

2. 持続可能性プランを作成する

すべてのイベントの出発点は、持続可能性プランを作成することであるべきです。野心のレベル、機会、迅速な勝利、持続可能性のリスク管理を定義するのに役立つ、いくつかの簡単なステップがあります。

プラン作成のステップ:

- 1) 自身の活動と、その活動から生じる持続可能性の影響を特定する
- 2) 主要な利害関係者とイベントの期待を特定する（世界陸上競技連盟、潜在的な商業パートナー、開催都市、選手、ファンなど）
- 3) 影響とリスクのレベル、主要な利害関係者へ望むことを考慮しながら、優先順位を決定する
- 4) 明確な目標を定める - イベントによってどのような社会的影響および環境的影響を与えたいか？
- 5) 明確な目標と、優先的に取り組むべき課題を特定し、その課題を解決するための測定可能な目的と目標、およびそれらの目的を達成するための行動を決める
- 6) 目標に対する成果を測定、モニタリング、評価する

このドキュメントでのガイダンスでは、イベントの開催において直面する、主要な持続可能性の問題を特定、評価、対処できます。

国際陸上競技連盟が取り組む主要な優先事項は、次のようなものです:

- リーダーシップ — コミュニケーションと支援
- 炭素管理 — 削減とニュートラル
- 持続可能な調達と廃棄物管理
- ローカル環境と大気汚染度の影響
- 多様性、アクセシビリティ、健康・幸福 — 選手、職員・スタッフ、ファン

- グローバルな平等 — 包含性と能力構築

世界陸上競技連盟は、炭素目標の達成と気候にプラスになる行動をとるために、約 300*のスポーツ団体・組織とともに[スポーツ気候行動](#)枠組みに協力することに署名しました。この世界的なスポーツ・ムーブメントと連携することをぜひご検討ください。

役割と責任は明確に割り当てられ、それぞれの目標に沿うように、時間、専門知識、資金などの適切なリソースからサポートを受ける必要があります。実行チームがサポートを必要とする場合があります；世界陸上競技連盟はそのための準備をしています。

このドキュメントにあるガイダンスは、プラン、実行、イベント後の段階に必要な行動を特定するために作成されています。

コミュニケーションと支援はイベント持続可能性の重要要素です。各イベントは内外、現場でのコミュニケーションを特定する必要があります。これには、大きなインパクトのあるメッセージを届けるために選手の協力が必要な場合もあります。

イベント計画の一環として持続可能性を活性化すると、商業パートナーを取り込んだ有効なプラットフォームができ、広く社会の変化に影響を与える機会を持つことができるようになります。それにより地域社会にとって重要なイベントの遺産を残せます。スポーツ界にはそのような事例が多くあります。

特定した目標を達成し、設定したプランに確実な成果をもたらすには、モニタリングと測定が非常に重要です。

プランとイベント開催過程についての全段階で詳しいガイダンスとサポートを確認するには、世界陸上競技連盟持続可能性本部 [Bob Ramsak \(bob.ramsak@worldathletics.org\)](#) までお問い合わせください。

* 2021 年 9 月 30 日現在

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

これらの行動はイベントのプラン作成と開催サイクル全体でとられるべきものです。

1. イベントプラン作成

- 持続可能性のミッション/野心のレベルを定義します。何を達成し、どう見れば「素晴らしい」のか？
- すべてのビジネス活動とそれに関連する持続可能性のリスクを特定します。問題を優先順位付ける場合、インパクトの可能性/レベル、法律順守、主要な利害関係者の期待を考慮する
- 持続可能性の問題の優先事項リストを活用して、目的と、詳細なアクションプランのある SMART 目標を定義し、KPI を作成して達成度を測定します。
- 所有権とリソース（財政、時間、人材）をアクションプランに割り当てる
- 利害関係者（社内外）と連携し、持続可能性と具体的な目標に関する教育を行い、賛同と支持を得る
- より広い社会の変化に影響を与え、遺産を作る機会を特定するための協力的なパートナーシップを確保する
- 持続可能性の野心とコミットメントをイベントのコミュニケーションプランに組み込む

2. イベント開催

- イベントスタッフが持続可能性のコミットメントのブリーフィング/教育を受けているようにする、サステナビリティの目標達成に向けて自身の役割を認識する、ベストプラクティスの行動を実証し「模範を示してけん引」できるようにする
- 開催を通してモニタリング/監査プログラムを実施し、プランに沿っているか確認する、遵守していない部分を特定して効率的に是正措置をとる
- 内外（例：選手など）の持続可能性「支援者」がベストプラクティスを実証・伝達し、利害関係者全体にインパクトのあるメッセージを送る
- コミュニケーションプランの一環として、持続可能性のメッセージ（現場およびメディアチャンネルで）を発信し、利害関係者団体全体のコンプライアンスと、達成を促進するための意識・行動を促す

3. イベント終了後

- イベント終了後、会場/パートナー/サプライヤー/請負業者とミーティングを行い、成果を建設的に評価し、継続的な改善を促すために学んだ教訓を把握する
- モニタリングプログラムを通じて得られた、持続可能性の達成と教訓に関する事実に基づく証拠を提供する、透明性のあるイベント後の報告書を作成します。

3. 持続可能な調達

イベントによる持続可能性への影響の大部分は、イベント実施チームがサプライチェーンを通じて調達し、世界クラスのイベントを成功させるために必要な製品およびサービスを提供した結果です。

サプライチェーンを効果的に管理することで、製品・サービスをタイムリーに提供し、マイナスの影響を最小限に抑え、特にイベントを開催している地域社会に対して、幅広い価値と社会的利益を提供することができます。世界陸上の持続可能な調達ガイドは、環境への影響を最小限に抑え、開催国のコミュニティ内で地域の回復する力について遺産を作ることのできる、倫理的なサプライチェーンを確保することに重点を置いています。

購買プロセスは一般的にわかりやすく、サプライヤーからの提案は、サービスや製品の品質と価格に基づいて評価されます。持続可能な調達は、製品の外観、感触、性能だけでなく、製品やサービスの社会的、倫理的、環境的影響に関する要素を含む、「品質」を再定義しています (Figure 1 参照)。

簡単に言うと、購買プロセスは以下のようになります：

1. 見積り要請 (RFQ)：特定した持続可能性の要件が RFQ に含まれるようにする
2. サプライヤーの評価：サプライヤーの社会的、環境的、経済的方針と管理を評価する
3. 製品またはサービスの評価：5 つの主要な質問 (別記) をして製品またはサービスを評価する
4. サプライヤーを選択し、持続可能性の要件を含んだサービスを契約する
5. サービス/製品の条項には、持続可能性の要件に準じている証拠となる条項が含まれていなければなりません。これらは指定された要件に応じた監査を通し、現場で確認され、適合していない場合は、是正措置がとられる

6. 契約したサービスの納品に対し支払いをする場合、最終データの報告と遵守の証拠を含める

詳細は、[こちら](#)の世界陸上競技連盟持続可能性 e ラーニングモジュール「持続可能な調達を理解する」を参照してください。

1. 見積り依頼書 (RFQ)

RFQ には持続可能性戦略で特定した持続可能性要件と地域の状況にとって重要な要件が含まれていなければなりません。材料の仕様は、廃棄物管理計画に沿ったものでなければなりません。これは持続可能なイベントの目的と目標を達成するための鍵です。

2. サプライヤーの評価

調達プロセスでは、製品・サービスを提供する企業の種類を評価する必要があります。重要なのは、製品やサービスの外観、感触、性能、そしてサプライヤーの信頼性です。ただし、評判が傷つくリスクを減らし、責任感の強いサプライヤーを確保・促進するために、RFQ の質問にはその会社についてのもも含める必要があります。単純に、社会的、環境的、経済的な方針と管理プロセスを尋ねてみてください。そこからスタートです。これは、ISO14001 (環境マネジメント) や ISO20121 (持続可能性管理) などの認証制度によって証明できる場合があるかもしれません。

保証・安心を求めるのは以下の点です：

- 製品またはサービスを提供する労働者の状況
- スタッフに生活費を支払っている会社
- 従業員の健康と安全
- 環境への影響を最小限に抑える、またはカーボンニュートラルなサービスを提供するための環境パフォーマンス

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイド

- 地域の回復する力、および地域経済へのインパクトを高めるための企業とそのサプライチェーンのローカル化

3. 製品またはサービスの評価

製品と、ある程度のサービスの持続可能性を見る場合に、訪ねるべき重要な5つの質問があります：

1. 製造会社はどこか、誰が作ったのか？
2. 材料は何か？
3. 包装・パッケージはどのようなものか？
4. 使用した場合のインパクトはどのようなものか？
5. イベント後はどうなるのか？

持続可能な調達とは、イベントチームが何をどう購入するかの過程において、環境と社会への悪影響を最小限に抑えるようにすることです。世界陸上競技連盟では、避けるべき製品・材料を指定した包括的な調達コードを作成しています。これは要請に応じて提供可能です。

4. サプライヤーの選択とサービスの契約

製品やサービスを提供する適切なサプライヤーを選択したら、持続可能性の要件を明確に規定した契約書を作成する必要があります。最低限、次の事項を記載する必要があります：

1. イベントの持続可能性方針と現場の調達への遵守（廃棄物管理、流出防止、プラスチックの1回限りの使用を避けること、低酸素輸送・交通を含むが、これらに限定されない）。
2. 製品の製造における材料の仕様と、禁止材料を使用していないことの明記
3. 使用材料の証拠と保証の条項

4. サービス終了時にイベントチームに報告するための必要なデータの条項（例：移動・輸送の影響、製品/材料の数量など）

5. サービスまたは製品の提供と監査

サプライヤーがサービスを提供する場合、材料の証明書や産地証明書も同時に提供し、指定された要件に適合しているよう現地監査を実施する必要があります。

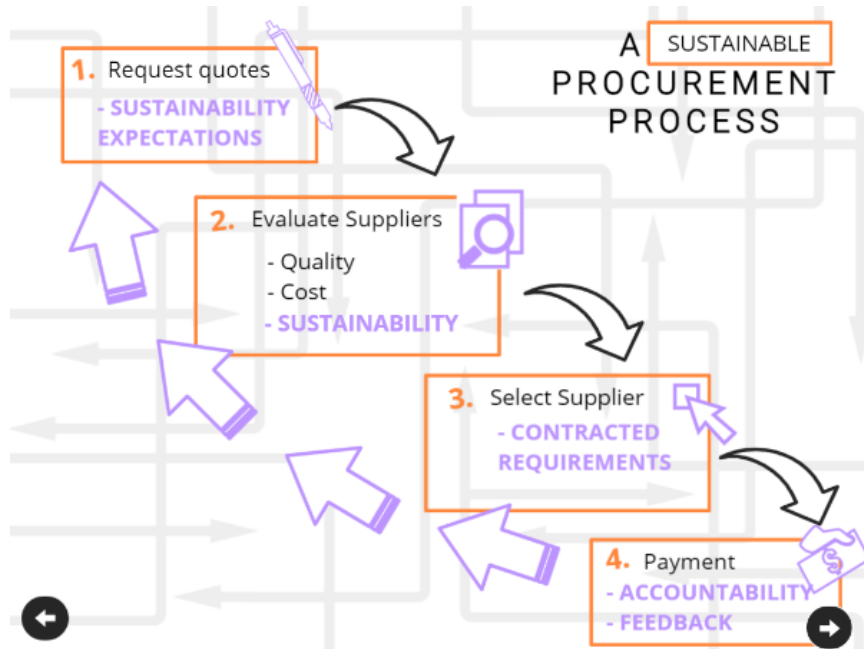
サプライヤーと密接に連携し、これらの持続可能性の要件を理解して重視できるようにします。イベントによって、さらに持続可能な製品を推進し、持続可能性の道を切り開くことができれば、社会的・環境的にマイナスの影響が大きい製品の需要は減少していきます。

サプライヤーも持続可能性の要件を達成するために密接に協力することで、サービスの提供を向上させることができます。

6. 契約したサービスの提供への支払い

必要なデータを提供することは、契約サービスの一部ですが、見落とされてしまうことがあります。サプライヤーが支払いについて理解しているかどうかは、仕様に沿ったサービスの提供と、必要な持続可能性のデータしだいです。これは、製品、材料の数量のほか、まだ提供されていない場合は調達の証拠、輸送、サービス提供のための移動距離などに関連するものとなります。

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイド



A SUSTAINABLE PROCUREMENT PROCESS	持続可能な調達プロセス
1. Request quotes -SUSTAINABILITY EXPECTATIONS	1. 見積依頼書 -持続可能性の期待
2. Evaluate Suppliers - Quality - Cost - SUSTAINABILITY	2. サプライヤーの評価 - 品質 - コスト - 持続可能性
3. Select Supplier - CONTRACTED REQUIREMENTS	3. サプライヤーの選択 - 契約要件
4. Payment - ACCOUNTABILITY - FEEDBACK	4. 支払い - 責任 - フィードバック

図1: 持続可能な調達プロセス (世界陸上競技連盟調達eラーニングより)

これらの行動はイベントのプラン作成と開催サイクル全体でとられるべきものです。

1. イベントプラン作成

見積依頼書 (RFQ)

- 見積依頼書 (RFQ) を含むすべての調達書類に持続可能性基準を盛り込む
- 持続可能な調達コードを実施し、可能な限り梱包材の廃棄をなくす
- 調達プロセスに優先順位を付けるために、サービスの提供、それに関連する持続可能性への影響、およびその規模を詳細に記載した持続可能な調達の土台を作成する

サプライヤー、製品、サービスの評価

- ISO14001 の環境マネジメントシステム (EMS) または ISO221 のサステナビリティマネジメント (持続可能性管理) システム (SMS) の認証を取得しているサプライヤーを特定する
- マネジメントシステムの認証を受けていないサプライヤーには、社会・環境・経済的な方針の詳細を要求する

サプライヤーの選択とサービスの契約

- 環境・社会・倫理的責任を、「価格に見合う価値」の判断基準およびサプライヤー/請負業者の選定基準に組み入れる
- イベント後モニタリング/評価データの提供を含む、持続可能性の要件がサービス契約に明確に盛り込まれていることを確認する

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

2. イベント開催

- 製品またはサービスの提供と監査
- イベントの開催期間中、持続可能な調達に関するコミットメントを監査し、遵守させるための責任を課す
- サプライヤー/請負業者が包装・パッケージを最小限に抑え、廃棄物に責任を持つようにさせる

3. イベント終了後

- イベント後のサプライヤー/請負業者との評価ミーティングでは、サービスの提供を建設的に評価し、継続的な改善を促進するために学んだ教訓を把握する
- 支払いの署名をする前に提供データとサービスを確認する
- イベント後の報告にデータと業績を含める

4. 廃棄物管理



適切な廃棄物管理は、二酸化炭素排出量の削減、持続可能性の向上、汚染やポイ捨てによる生物種や生息地への影響の最小化、財政コストの削減につながります。廃棄物管理の大きな要素は、イベントの調達段階で実際に発生する廃棄物を最小限に抑えることができるかどうかです。

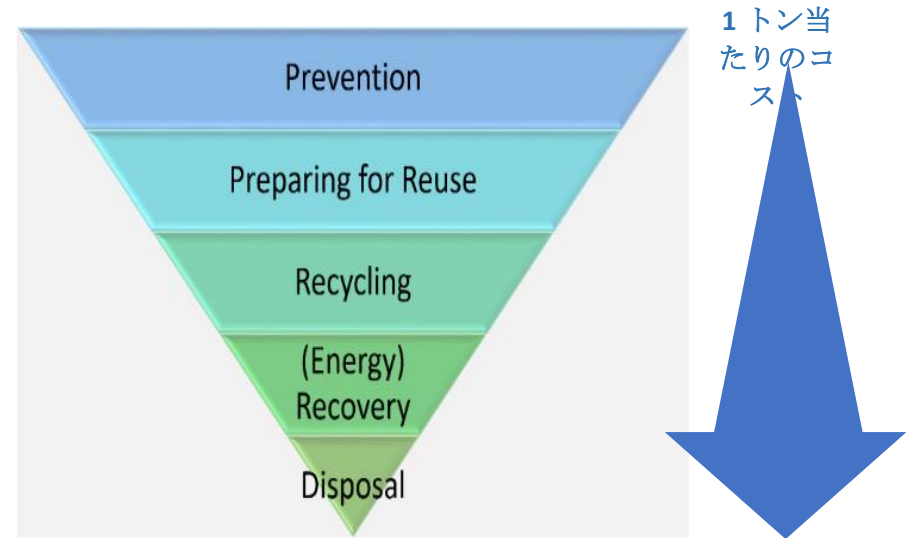
廃棄物のプラン作成

イベントの世界的な性質や、場所によって廃棄物を処理する能力が異なるため、各イベントで予想されるすべての廃棄物を特定し、利用可能な廃棄物ルート特定して個別に廃棄物の計画を作成します。この計画は、現地の法的要件だけでなく、現地で利用可能な廃棄物管理規定に沿ったものであるべきです。

廃棄物管理業者を選ぶ際は、各地域において選択し、目標を達成する能力、および包括的なデータ報告による証拠を提供する能力を考慮する必要があります。廃棄物階層 (Figure 2 参照) 全体に提供可能な地元業者を選択するとさらに良いでしょう。ただし、必要な目標を達成するためには、複数の廃棄物処理業者が必要な場合もあります。必要に応じて、指定した廃棄物業者が地域の環境機関の登録業者であることを常に確認してください。

廃棄物を効果的に分別するためには、廃棄物を安全かつ確実に保管できる十分なスペースを計画する必要があります。危険な廃棄物を保管する場合は、特に注意してください (液状の危険廃棄物がある場所の周囲をテープやロープで囲むなど)。

廃棄物用容器はすべて、はっきりとそれがわかるように表示し、汚染を極力抑えるために、同じ場所に集めて保管する必要があります。



すべてのスタッフは、プランを認識し、現地での実施について説明を受け、自らの行動に責任を持たなければなりません。

Prevention	予防
Preparing for Reuse	再利用の準備
Recycling	リサイクル
(Energy) Recovery	(エネルギー) 回復
Disposal	廃棄

図2 廃棄物階層

廃棄物の発生と廃棄物の流れ

廃棄物は、イベント前のイベント事務所や、イベント会場の準備、搬入、撤去時に発生します。

廃棄物の種類には以下のようなものがあります：

- オフィス：紙類、電化製品、電池、清掃用品、食品包装材、廃棄食品、残飯

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイド

- イベント: ブランド品、紙、電池、壊れた機器、食品のパック・包装、廃棄食品、残飯、ガラス、包装物、カバーやシートの廃棄物、機器（壊れたもの/使用できるもの）。

廃棄物管理

地域の施設によって異なりますが、廃棄物総重量の **60%** をリサイクルし、埋め立てによる廃棄をゼロにすることは妥当な目標です。廃棄物階層を実施するためのステップは、以下の通りです:

1. 排除

第一目標は、不要な廃棄物を一切出さないこと、それが不可能な場合は、廃棄物の階層構造に従って達成可能な、最も環境にやさしい廃棄手段を用いることです。排出されるすべての廃棄物を見直し、その排出源を特定することで、その廃棄物の流れをなくすための代替手段が存在するかどうかを確認します。

すべての世界陸上競技大会に共通するものは、材料や製品の **1 回限り** の使用（使い捨て）をやめるよう必死に努力する心です。飲料水のボトルの使い捨てに代わるものを考え、さらに水分の補給ステーションを提供する必要もあります。観衆とスタッフのための水分補充ステーションがある場合、補充用ボトルを収入源として提供するか、または個人が各自持参するよう奨励することもできます。同様のアプローチは、持ち帰り用のコーヒーカップにも適用できます。

密封されたペットボトルを交換し、競技場での不正を確実に防止するためには、協力的なアプローチが必要であり、それを実行するのは困難なことも多いでしょう。しかし、十分に達成した事例はたくさんあります。

包装やレジ袋も可能な限り排除すべきであり、これは持続可能性の調達コードの重要な部分です。スタッフはサプライヤーと密接に協力し、製品の配送に必要な包装の量を最小限にする必要があります。

印刷物は、必要なときだけ印刷し、両面印刷も必要な場合のみ行い、不要な紙はすべてリサイクルするようにしてください。印刷物削減機能を導入することで、収集しきれない印刷物のムダを削減することができます。

ケータリングの無駄は、チケットやケータリング回数だけでなく、量の管理、メニューの作成、在庫管理に気を付けることで解消されるはずで、観衆が異なれば、食品の量や種類も異なります。まずはケータリング提供業者と密接に連携することで、無駄を省くことができるはずで、使い捨ての食器ではなく、再利用可能な食器を在庫の一部にする必要があります。仮設の食器洗浄機を用意することで、短期間のイベントでも費用対効果が期待できます。

2. 再利用

廃棄物をなくすことができない場合は、再利用することを検討しなければなりません。各イベント会場では、事前の計画により再利用可能な材料を特定し、レンタル市場を最大限に活用して、地元のパートナーと協力しながら、地域社会に貢献できるさまざまな可能性を見出してください。レンタル市場は、再利用可能な仮設インフラを大量に提供することができます。

1 回限りのブランディングの使用は極力避けるべきです。また、複数のイベントを開催する場合や、同じ場所で繰り返しいイベントを開催する場合は、日付、場所、スポンサーによる継続的なブランディングの変更を最小限に抑えるために、ブランディング設計はブランディング会社にとって必須でなければなりません。

ブランディングは、可能な限り再利用できるように設計するか、または地域のコミュニティグループに譲渡し、革新的で創造的なさまざまな用途に使ってもらえるようにしなければなりません。

設備・機器は、国内の連盟を通じて地域のクラブなどで再利用の機会を見つけることは難しくありません。イベントの遺産プログラムの

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイド

一環として、地域のクラブ設備の質を向上させる絶好の機会かもしれません。

イベントでの「おもてなし」により過剰な食事が作られる場合がよくあります。チャリティ関連のデジタルプラットフォームでは、ケータリングを管理する者がまだ食べることができる食品の残りを個人や団体に送ることができます。

3. リサイクル

リサイクルとは、廃棄物を同一または類似の材料に加工することです。プラスチックは一般的に広くリサイクルされていますが、プラスチックの種類や等級が異なると、さまざまな問題が発生します。また、素材が混在している製品も同様にリサイクルが困難です。そのため、リサイクル可能な製品であっても、例えば使い捨てのコーヒーカップのように、構成材料が分離されていなければリサイクルできない場合があります。

イベントで一度使用した製品・材料を排除または再利用することができない場合、材料はリサイクルできるものにするべきであり、リサイクルできない材料を使うこと避けなければなりません。材料の種類やリサイクル可能かどうかについては、最初の調達時に確認してください。

ブランディングはできる限り、リサイクル可能なものであるべきです。世界陸上競技連盟では再利用されませんが、リサイクルしにくい PVC バナーのような代替用途のある材料については、寄付の機会を探すべきです。

食品および肥料となる得る包装材は、実際に堆肥が作られることでリサイクルとみなされます。そうした加工、肥料化は、どこでもできるというものではありません。肥料にできる食器がある場合は、「容器内堆肥化」 IVC または屋外肥施化設を利用できるか注意し、肥料化が可

能な包装を使用するにあたり、リサイクル「廃棄物の流れ」の邪魔にならないようにしてください。

多くの場合、生ごみは嫌気性消化 (AD) に回されますが、これは技術的にはエネルギー回収であり、リサイクルではありません。このプロセスでは、たい肥にできる食器を処理することができないため、廃棄物の流れが途絶え、最終的に一般廃棄物 (ビニール袋) として処理されることとなります。

4. 回収

回収とは、廃棄物を焼却し、エネルギーに変えることです。リサイクルできないプラスチックや汚れたリサイクル品のビニール袋は、ごみ焼却施設で焼却され、エネルギーを生産します。建設廃棄物や汚染された廃棄物はエネルギー回収に回されず、結果として埋立地に送られる可能性があります。堆肥化施設がない場合、食品と、肥料となり得る包装素材は、嫌気性消化によって処理されることがありますが、これは技術的には回収になります。

5. 処理

処理とは、廃棄物を排水などの自然環境に廃棄する前に処理することです。イベントを行う場合、機器の洗浄や使用した製品が、処理せずとも下水道や水路に廃棄できるようにしなければなりません。

仮設の衛生設備や厨房は、適切な排水システムが備わっていなければなりません。

6. 廃棄

廃棄とは、廃棄物を埋立地に送ることです。これは有害廃棄物や一部の建設資材などがある場合ですが、現在では、塗料、炭素繊維、樹脂などの材料を回収する技術革新が進んでいるため、検討する必要があります。これらは専門の業者によってのみ可能となります。

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイド

廃棄は、調達を慎重に行えば、最小限に抑えることができます。ですから、廃棄物管理プランでは可能な限り避けるべきです。石膏ボード（石膏）などは分別が必要です。これは、通常の埋立地では処分できないため、調達の段階で除外しておく必要があります。

バッテリー、オイル、廃電子機器など、その他の危険物や特別な廃棄物は、地域の規制に従って分別し、処分する必要があります。上記は廃棄物のプラン作成時に確認すべき点です。

廃棄の伝達

プランをスタッフや請負業者、訪問者に伝えることはたいへん重要です。清掃業者は、廃棄物管理に積極的に関与し、社内研修でさまざまな廃棄物の流れを説明しなければなりません。さらに、廃棄物の流れが途絶えた場合や、ゴミ箱が不足している場合は報告できるようにし、廃棄物のプランが適切に実行できるよう対処する必要があります。

すべてのゴミ箱にわかりやすい同じ図や色を付け、ゴミ箱であることの表示をすることが重要です。ゴミ箱は、それぞれの場所で発生する廃棄物の流れに応じて、複数まとめて提供されるべきです。指定されたゴミ箱を探してその場所へ行く人はほとんどいません。皆、自分の近くにあるゴミ箱にゴミを捨てます。

イベント前の研修で、スタッフやボランティアに廃棄物削減の方法を説明し、定期的に行動を喚起する必要があります。これは**認定プロセスの要件として行う必要があります**。

サプライヤーや請負業者へのコミュニケーションは、イベント開催前や現場での導入説明の際に行い、また認定プロセスにも組み込んでおく必要があります。

モニタリングと報告

イベント期間中のモニタリング

プランが効果的に実行されているか、イベント期間中に定期的に監査することをおすすめします。プランの中でゴミ箱の場所や標識、メッセージの内容を変更したり、移動・適応したりできるよう、規定とリソースを確認してください。

廃棄の報告

廃棄物管理プランが有効なものかどうか、また、目標の達成度を評価するために、以下の内訳を含む必要最低限のデータを記録する必要があります：

- 廃棄物の総量（トン）
- 廃棄物の種類ごとに分類した割合（一般廃棄物、リサイクル可能、ガラス、食品）
- 各廃棄物の流れの処理方法

このデータは廃棄物処理業者によって収集され、サービスが完了し、データが提供されて初めて満たされる契約の要件であるべきです。

国によっては、廃棄物の記録は、イベント当局となっている廃棄物の発生元が保持することが要求されているところもあります。国による法的要件は破棄物プランの中で確認してください。

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイド



ゴミ箱の側面と蓋に廃棄物の表示、ゴミ箱の設置例

これらの行動はイベントのプラン作成と開催サイクル全体でとられるべきものです。

1. イベントプラン作成

- 関連する適用法令を特定してコンプライアンスを確保する
- 特に動きの速いイベントの世界において、無駄を省くために効果的で持続可能な調達を実施する
- 廃棄物階層に沿った資源管理計画を作り、材料・製品と、その廃棄物処理経路を明確にする
- 適用可能な廃棄物の流れを確認する
- 廃棄物容器と蓋を適切に選び、分別しやすいようにする
- 廃棄物の量を予測し、それに応じてゴミ箱を割り当て、関係者のニーズを満たすような表示をデザインする
- ゴミの分別をやすくするため、ゴミ箱の場所がはっきりとわかる表示をする - 例：(1) 紙とカード、(2) ボトル、プラスチック、缶、(3) 一般/その他のゴミ
- 廃棄物を安全かつ確実に保管するための十分なスペースを計画する
- 危険な廃棄物の流れを特定し、保管に関する特別な予防措置を講じる
- すべてのスタッフが廃棄物管理プランを確認・理解・把握する

サプライヤーの選択とサービスの契約

- 廃棄物管理業者を選ぶ際は、特定された廃棄物の流れが管理でき、廃棄物階層全体で作業できる能力があることを確認する；業者が複数になる場合もある
- 契約する前に、廃棄物処理業者が登録業者であり、許可証を持っていることを確認する

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイド

2. イベント開催

- 廃棄物管理プランのモニタリングと強化に関する責任を割り当てるイベントの通常監査でプランが効果的に実施されているかどうかを確認する
- スタッフやボランティアに廃棄物削減の方法を説明し、定期的に行動を喚起する
- 建物の裏と表の両方に、プランに従ってゴミ箱を配備する（シンプルで分かりやすい情報、目の高さ、ゴミの散乱を防ぐための蓋を付ける）。
- ゴミ箱の使用とゴミの散乱を監視・取り締まる責任を割り当てる
- 廃棄物が、廃棄物輸送業者として地域の環境機関に登録された会社によって収集され、許可された廃棄物処理場または中継所に運ばれていることを確認する
- 廃棄物回収スケジュールを公開する
- 廃棄物は安全な場所に保管し、危険な廃棄物を保管する場合は、特に注意する
- 法令違反の問題を毎日チェックし、改善のための行動をとる

3. イベント終了後

- 少なくとも以下の内訳を含む、廃棄物の発生を記録するようにします：
 - 廃棄物の総量（トン）
 - 廃棄物の種類ごとに分類した割合（一般廃棄物、リサイクル可能、ガラス、食品）
 - 各廃棄物の流れの処理方法
- すべての廃棄物管理委託業者は廃棄物管理プランのフィードバックとデータを収集し、イベント後の報告書に反映させる
- 廃棄物管理はイベント後に反省会を開き、目標および KPI に照らして評価を付ける

5. エネルギー管理

世界陸上競技連盟は、その運営からできるだけカーボンフットプリントの排出を抑え、エネルギー提供の際の炭素含有量を削減し、エネルギーの効率化を高めて運営することに取り組んでいます。世界陸上競技連盟は 2023 年までにカーボンニュートラルの目標を設定しました。炭素排出の重要な問題はイベントのエネルギー提供から派生しています。世界陸上競技連盟はスタジアムを所有していないため、持続可能性の目標に向けて二酸化炭素削減を達成するには、開催都市、会場、LOC、サプライヤーと協力することが鍵となります。

世界的に見ると、エネルギー源は依然として再生不可能な化石燃料が中心であり、世界的な二酸化炭素排出の原因となっています。このガイダンスは、私たちが直接使用するエネルギー、イベント時の臨時電力エネルギー供給の一部として調達する製品、およびサービスの生産に使用するエネルギーに関するものです。

エネルギー管理の方法はエネルギーの仕様を削減することです。技術的に可能な場合は、設計の段階、効率性の観点からエネルギー需要を減らし、化石燃料からバイオ燃料や再生可能エネルギーに転換することで、使用するエネルギーを再炭素化を防ぐようにします。

カーボンフットプリントの測定と優先化

カーボンフットプリントの測定と優先化についての詳細は、[こちら](#)から世界陸上競技連盟の 2 番目の持続可能性 e ラーニングモジュール「炭素排出について理解する」を参照してください。

電気、燃料、仮設電力はすべて、イベントの二酸化炭素排出量全体の中で重要な部分を占めており、その影響の大きさを理解すれば、それに応じて行動の優先順位を決めることができます。

トレーニングではさらに詳しい説明がありますが、エネルギー消費は「スコープ 1」「スコープ 2」などの直接排出の重要な部分となります。これらは優先して取り組むべきことです。

エネルギー管理のプラン作成

各イベントでは、二酸化炭素排出量を最小限に抑えるため、「LEGO」エネルギー階層を通じたエネルギー管理プランを作成する必要があります。



ります。

- 削減 - 例えば、空調の必要性を最小限に抑えるなど、イベントの設備設計で不必要なエネルギーを排除するスタッフ、ボランティア、請負業者が使用しないときは機器の電源を切り、総消費量を削減する
- 効率 - 仮設電源の供給を通じて、請負業者と協力して効率的な供給を設計し、すべての機器がエネルギー効率の高いものであることを確認する (LED照明など)
- グリーン - 最も二酸化炭素排出量の少ない発電方式を選択し、エネルギー供給を脱炭酸化する；例：
 - 可能な限りグリッド接続を使用した主電源／系統電源の再生可能エネルギーの使用
 - 一時的な電源として、バイオ燃料、ソーラーハイブリッド、水素燃料電池を使用する
 - 太陽光発電を最大限に活用するためのエネルギー貯蔵を検討する
- オフセット - 残りの炭素排出量を計算し、関連するオフセットプログラムを実施して残りの排出量を補正します。モニタリングには、イベント全体の総エネルギー需要も含まれ、これにより今後のイベントのための継続的な改善と教訓を得ることができます。

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

これらの行動はイベントのプラン作成と開催サイクル全体でとられるべきものです。

1. イベントプラン作成

削減

- 人工照明よりも自然照明を優先的に使用してください。必要な場合は、エネルギー効率の高い照明を使用する
- 放送時間前後の照明時間を最小にする
- 座席、仮設インフラ、イベントオフィスは、個人の快適性に合わせて暖かい場所と涼しい場所ができるようにし、冷暖房の非効率的な使用を避け、状況に適応できるよう計画する

効率

- 一時的な電源供給のために発電機が必要な場合に不可と効率を最適化する
- エネルギー効率の高い機器、照明、音響、ケータリング、暖房、冷房を使用し、できるだけ効率的な設備を選択またはレンタルする
- すべてのサプライヤー/パートナー/スポンサーのインフラまたは設備にエネルギー効率の高い機器を装備してください。

グリーン

- 可能であれば、グリッド（100%再生可能）電力を選択する
- 発電機を使用しなければならない場合、バイオ燃料やその他の低炭素燃料の使用可能性を検討する
- イベントパートナーシップが革新的なゼロ炭素エネルギーソリューションを紹介する
- 高温のため空調設備が必要な場合、太陽エネルギーの利用を検討する
- 発電機/黒煙から汚染物質が排出されないようにする

オフセット

- サプライヤーには、24時間体制で総電力消費量（kWh）を監視するように説明し、発電機については燃料消費量（リットル）を監視させるようにしてください。また、可能であれば、発電機の効率も監視し、サービス契約書に監視と報告の要件を詳述するようにします。

2. イベント開催

削減

- 全スタッフとボランティアにエネルギー管理について説明してください：
 - ステージ照明、スクリーン、PA（デスク、パワードスピーカー）などの機材は、使用しないとき、または必要のないときは電源を切る、など。
 - 充電器（電話、双方向無線機、その他の機器用）は、使用しないときはスイッチを切っておく
- 電源を入れたままにしておく必要のある機器には、それがはっきりとわかるようなラベルを貼る
- 受動冷暖房は基本行動であるべきで、窓を開閉し、空調よりも扇風機を使用する
- 終了時に現場を見回って可能な限り機器/照明/発電機の電源がオフになっていることを確認する

効率

- 現場のすべての機器について撤去または効率的な機器へのアップグレードが可能かどうか確認し、記録する
- エネルギー消費量削減のための簡単な行動を来場者全員に伝える
- 法令違反の問題を毎日チェックし、改善のための行動をとる

3. イベント後の総括と反省

削減/効率

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

- イベント終了後、サプライヤー/請負業者および関連スタッフとの「総括/反省」ミーティングを開催し、エネルギー使用量と管理状況を確認し、継続的改善のための成果および教訓を把握する
- エネルギー目標およびKPIに対するパフォーマンスは、イベント後の評価ミーティングの一部として文書化する

オフセット

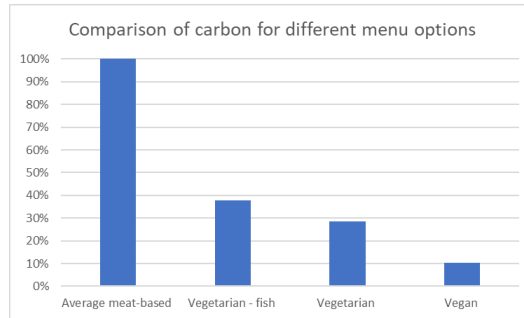
- サプライヤーの総グリッド電力を記録する
- 一時的に発生した電力を記録する - 総消費電力量 (kWh) 、燃料消費量 (リットル) 、発電機の効率 (可能な場合) 、24時間負荷チャート
- 残りの炭素排出量を計算し、イベント中のエネルギー消費による炭素影響を緩和するために、関連性のある信頼できる補正パートナーまたは地元の社会プロジェクトを選択する
- すべてのデータ、学習、成果をイベント後の報告書に反映する

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイド

6. 食品管理

食糧生産は、世界の温室効果ガス排出量の 4 分の 1 を占めています¹。食品管理では、食品がどこから来たのか、またどのように栽培・飼育されたのかをチェックする必要があります。植物を基にしたメニューは、提供する料理により二酸化炭素排出量を大幅に削減することができます。ビーガン食は、炭素集約型の肉食メニューに比べ、食品の炭素負荷を最大 90%削減することができます。

持続可能な食品憲章の実施は、環境への脅威をできるだけ少なくし、地元の生産者に利益をもたらすよう、健康的で手頃な価格の食品を提供することを目指すべきです。これは以下の分野に焦点を当てることで実施できます：



Comparison of carbon for different menu options	異なるメニューオプションでの炭素の比較
Average meat-based	平均肉ベース
Vegetarian - fish	野菜 - 魚
Vegetarian	野菜
Vegan	ビーガン

地元食品の提供

- 新鮮で季節感のある地元産の食品を確保し、食品の輸送距離を短縮する
- 食材はその大部分を開催場所 25 マイル圏内から調達し、地元の生産者や企業を支援する

¹ <https://ourworldindata.org/food-ghg-emissions>

- 地元の多様な食文化を尊重する

責任ある調達

- 持続可能性に準じて生産された食品はカーボンフットプリントが低い
- 魚介類は 100%持続可能な方法で調達し、理想的には地元の漁師から調達する
- 遠方から供給される食品は、フェアトレードで倫理的なものであるべきで、生産者が公正な価格で商品を購入できるようにする

健全な環境

- オーガニック、フリーレンジ、[LEAF マーク](#) 認定サプライヤーから調達してください。LEAF の認定は、人工的な化学物質から土壌と環境を守り、高い動物福祉基準に従った農法を保証するものです。他のには次のような基準があります：[Red Tractor](#) (英国), [Demeter](#), [Soil Association](#), [Rainforest Alliance](#) [International Foundation for Organic Agriculture](#) (IFOAM)。自国の認定についても調べてください。

メニュープラン作成

- 旬の食材を取り入れ、適正な分量で献立を考える
- 食事についてあらゆる配慮がなされているようにする
- 健康・幸福をもたらすメニューを作成する
- なるべく植物を基にした提供物を多くする

食品廃棄物の管理

- 梱包材が少ない、またはリサイクル可能な製品を使用する

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

- 使い捨ての食器、使い捨てのプラスチック、ポリスチレンの使用を避ける

未使用の食品の寄附

- 調理済みの食品を含め、どうしても食べ残しが出る場合は、本当に必要としている人に食品を再分配できるよう地域の団体などに寄付してください。

教育と意識改革

- 私たちは、口にする食べ物、その源となる動物、そしてそれを生産する人々を大切に、ポジティブな食文化を創造することを望んでいます。私たちは、ファンがより良い、持続可能な選択をできるように、食品による健康や環境への影響について認識を高めることに尽力します。

それらは、以下のようなイベントのプラン作成サイクル残態で実行できます：

1. イベントプラン作成

ケータリング業者の選択

- ケータリング業者は食品に配慮する - 食品の調達について明確にすることで、そうした配慮の要件を提案依頼書やサービス提供契約に簡単に盛り込むことが可能（「調達」参照）、
- 請負業者は、期待されるすべての基準を満たす責任を負わなければなりません。すべてのフード売店でデューデリジェンスを実行する
それにはすべての関連法規および食品・衛生規格の遵守も含まれる
- 可能であれば、ケータリング業者は、オーガニック、フリーレンジ、または LEAF マーク認定のサプライヤーから調達してください-EAF 認定は、人工的な化学物質から土壌と環境を守り、高い動物福祉基準に従った農法であることを保証しています。

- 持続可能な調達では、食料の大半を 25 マイル圏内から調達することで、地元の生産者や企業を優先的に支援できます。遠方から供給される食品は、フェアトレードで倫理的なものでなければならず、生産者は商品に対し適正な金額を受取るべきです。

メニュープラン作成

- メニューに組み込まれるもの：
 - 季節の生産物と適切な数量
 - 健康食品/ヘルシーフード
 - 植物を基にしたバランスの取れた食事
 - すべての食事制限・要件
- スタッフ、選手、観客の人数を予測し、メニューの計画、在庫管理、食品廃棄物を最小限に抑えるための食料供給を行う

食品廃棄物管理

- 未使用のケータリングや生鮮食品については、食品の寄付や再利用を検討する必要があります。
- 使い捨ての食器や包装材はイベント全体のケータリングプログラムにおいて排除されるべきです。分別と、堆肥にすることを考え、堆肥となり得る食器や包装を使用するよう心がける（「廃棄物管理」のセクション参照）
- 食品廃棄物の分別システムを作る

2. イベント開催

コンプライアンス（法令遵守）の確認

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

- 食品チャーターやその他の法令遵守を確認する
 - すべての厨房に食品安全管理システムのハードコピー（および記録フォルダ）を備える
 - ケータリングやコンセッション/フードステーション/売店は、現地当局が個別に審査・確認し、準拠させる
 - 企画に沿ったメニュー提供を見直す
- ケータリング会社が必要な報告指標を記録しているか確認する

廃棄物のチェック

- 使い捨ての食器やカトラリーがないことを確認する
- 廃棄食品を出さないように食事の提供量をコントロールする
- 生鮮食品の鮮度を確実に保持する
- 製品包装を最小限にし、利用可能な廃棄物処理施設と連携する
- 廃棄物のリサイクル分別を徹底する

食品寄附スキーム

- 廃棄物を最小限に抑え、地域社会の価値を最大化するために食品寄附スキームを促進する

3. イベント終了後

- ケータリング会社から提供されたデータおよびフード寄附スキームから、食材提供の達成度を確認する
 - 食品提供リスト
 - 食品廃棄量
 - レストランからの提供で賄える数
- イベント後の評価ミーティングや報告の一部として、目標や KPI に沿って食品管理を評価・文書化する

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

7. 水管理

イベントを成功させるためには、フィールド内外を含むすべての水の供給について認識することが不可欠です。気候変動の影響を考慮した水の供給は、先進国、途上国を問わず、干ばつや洪水による影響がひじょうに大きく、世界的に深刻な問題となっています。世界の多くの地域では、清潔な飲料水と衛生設備の数が限られています。世界陸上競技連盟は、この貴重な商品の価値を認識し、水資源を保存して保護するよう努力します。これは、水域周辺の生物の生息地や生物種にも及びます。

持続可能な水管理には、水の無駄遣いの削減、生活排水の再利用、石油や燃料、化学洗剤、固形廃棄物による汚染を排除することなどが含まれます。

運営上、イベントは次のことを目標にすべき：

- フィールド内または周辺の水生環境（河川、湖沼、海岸環境など）に汚れの痕跡を残さない
- 可能な限り節水技術を導入する
- ろ過された（本管）飲料水設備を設置する

これは、イベントの企画サイクル全体で、次のように実施されます：

1. イベントプラン作成

- 使用と廃棄の選択肢を検討し、環境への影響を最小限に抑える供給・廃棄プランを作成する；プランには以下の事項を含めます：
 - 飲料水：持ち運び可能な飲料水
 - 灌漑用水/青い水/ブルーウォーター洗剤や灌漑に使うきれいな水（飲めません）
 - 生活排水/中水洗濯・洗浄/クリーニングの水（有機汚染なし）

- 排水/黒い水ケータリングの雑排水、下水
- すべての法規制を把握・遵守し、必要であれば、関連する排出許可証やライセンスを取得する
- 適切な選択肢を選んでください：
 - 可能であれば、仮設のインフラで運ぶのではなく、本管の水供給と衛生設備を使用する
 - 仮設インフラが必要な場合、輸送マイルを最小限に抑え、機器の効率を最大化することを目標にする
 - 水インフラを定期的に点検し、健全性を確認するとともに、必要に応じて損傷や漏れを効率的に補修する
 - 節水型製品・サービスを導入・実施する
 - 雨水/青水/中水を利用する機会を特定する 例：灌漑、洗濯など
 - 衛生設備は冷水手洗い設備で十分であり、お湯を沸かすためのエネルギーも節約できる
- 環境を保護する
 - 必要に応じて、環境に害を与えないクリーニング製品を特定する
 - 排水と汚染された流出の潜在的な原因を理解し、表面排水を保護する
- 使い捨てプラスチック（「廃棄物」参照）を排除し、飲料水補給ステーションを計画する
- サプライヤーがデータ報告要件を理解しているか確認する - 計画要件を作成する

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

2. イベント開催

- インシデント（事故）とコンプライアンス（法令遵守）
 - 事故発生時のイベント安全対策/緊急対策チームの一員として、現場内に排水計画があることを確認する
 - イベントチームの全スタッフが流出対応に関する訓練を受け、訓練記録を確認する
 - 設置およびイベント期間中、仮設の水道に水漏れがないことを確認する
 - 流出事故に対処するための適切な流出防止キットを現場に設置する
 - 環境に配慮した清掃用具や使用する化学物質が承認され、流出が最小限に抑えられていることを確認する
 - 節水のメッセージを選手、サプライヤー、スタッフに伝え、蛇口やホースの出しっぱなしがないようにする

- 事故やニアミスは報告し、記録してください。

3. イベント終了後

- 水の総使用量と排水処理（本管と仮設）のデータを提供する（契約要件）
- 節水装置搭載機器と非搭載機器を見直す
- あらゆるインシデントを検証し、原因を特定する；次回のイベントでインシデントをなくすための効果的な手段を特定する - 世界陸上競技大会全体でベストプラクティスを共有する
- 目標に対する成果を検証し、改善すべき点を特定する

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

8. 移動プラン作成

移動・旅行は、二酸化炭素などの温室効果ガス（GHGs）の排出量が世界で2番目に多い行動です。市町村の大気環境にも大きな影響を及ぼしています。陸上競技は、トレーニング、競技会、ミーティング/会議など、大きな二酸化炭素排出量を生み出します。スポーツを通じて人々を結びつけるためには、移動が不可欠ですが、移動に伴う二酸化炭素の排出は、スポーツに関連する主な環境負荷のひとつとなっています。

イベント主催者は、このことを認識し、公共交通機関の便が良い会場を選ぶよう努力する必要があります。イベントの来場者には、持続可能な交通手段を選択することで、排出量の削減に協力するよう奨励すべきです。オフィスやイベント開催都市の交通機関のリストを作成し、情報リンクを含めて参照できるようにしてください。

持続可能な移動プランの作成と実施により、すべてのイベントスタッフとチームが持続可能な移動を選択できるようにしてください。カーボンフットプリントの削減を実現するためには、温室効果ガスの主な発生源である移動・出張・旅行を適切に管理・モニターする必要があります。さらに、持続可能な移動を実施すれば、都市型イベントが大気質への影響を減らすことに貢献することもできます。世界陸上競技連盟の持続可能性戦略に沿って、移動・出張・旅行に関するポリシーは、イベント主催者や幅広い（利害）関係者に必要に応じて持続可能な移動について教育し、権限を与える役割を担っています。

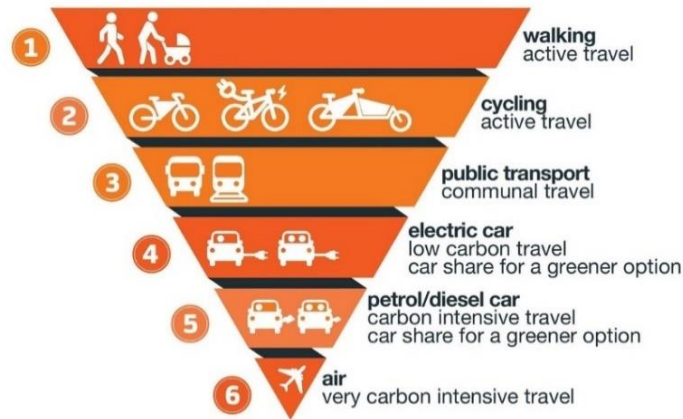
「移動階層」を推し進めれば、低炭素な移動が可能となり、あらに移動が活発なった場合も、すべての（利害）関係者が日常生活の中で活動を維持できるような選択を促すことができます。多くの国で肥満が増加している中、徒歩で通勤や通学するといった簡単な選択で、現在そして未来の世代が健康でいられるようなアクティブなライフスタイルを促進することができるのです。

「持続可能な移動」ポリシーの目的は、移動・旅行・出張の予約に関して明確なプロセス/ポリシーを作成することです。これは次のことを目的としています：

- 旅行者・移動者に環境への影響を意識してもらいます。移動は主な汚染物質の排出源であり、移動者は自分の行動や移動パターンが及ぼす影響を理解する必要があります；
- 移動する人数を減らす；
- 交通機関を決める際は輸送・交通階層に準じ「環境に配慮した」移動手段を選択する；
- イベントの炭素による影響を減らす；
- 実証的に価値観を共有できるサプライヤーを選ぶ；
- 航空会社、空港、ホテル、移動手段など、移動・旅行のすべての段階で低炭素な手段を優先的に選ぶ；
- すべてのイベントの旅行予約について厳格な炭素報告書を作る

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

- イベントの移動において残留炭素の影響を補正する



walking active travel	ウォーキング 活動的な旅行
cycling active travel	サイクリング 活発な移動
public transport communal travel	公共交通機関 通勤
electric car low carbon travel car share for a greener option	電気自動車 緑のオプションの低炭素移動カーシェア
petrol/diesel car carbon intensive travel car share for a greener option	ガソリン/ディーゼル車 緑のオプションの炭素集約型移動カーシェア
air very carbon intensive travel	空気 超炭素集約型移動

移動・旅行・出張のベストプラクティス

最良の実践ガイダンスは…

なるべく移動しないことです

実際、必要のない移動がかなりあります。強制的なコミュニケーション、トレーニングプラットフォーム、ネットワーキングプラットフォームなどを利用するようになり、ミーティングやワークショップ、セミナー、そして一般的なオフィスへの移動の必要性は大きく変わりました。とは言っても、現場訪問や実際のイベントに移動が必要な状況はあるでしょう。そのような場合は、移動階層を実施すべきです。

活発な移動

最初の選択肢として、常に活発な移動があります。健康的な生活を促進するスポーツイベントとして、私たちは「有言実行」し、あらゆる機会に活発な移動に取り組むべきです。興味のある競技場所間の所要時間や消費カロリーなどの健康面を強調した「ウォーキングマップ」を提供することは、ウォーキングを促す魅力的な方法となります。

自転車がある場合、自転車を提供するか、または自転車のある都市で自転車スキームの利用を奨励してください。

公共交通機関

イベント開催都市では、さまざまな公共交通機関を簡単に利用することができます。可能な限り、公共交通機関を利用してください。

自動車による移動

公共交通機関が利用できない場合は、常に自動車の相乗りを第1の選択肢とする

自動車が利用できる場合：

- ハイブリッド車や電気自動車など、低炭素自動車が利用可能な場合は、それを利用すべきです。

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

- 低炭素の自動車がない場合は、一般的に小型車の方が効率が良いです。
- 運転については、燃費や排出ガスの観点から効率的であるべきです。限りある資源で最大限の距離を走る - タイヤ空気圧を適切にする、制限速度を守る、必要ないルーフボックスを載せない、必要に応じてガイダンスを受ける

航空機による移動

ビジネスクラスでの移動は、ビジネスクラスの座席が広がっているため、二酸化炭素排出量がほぼ2倍になります。ビジネスクラスのフライトを制限することで、組織の出張による二酸化炭素排出量を大幅に削減することができます。

5時間未満のフライトは短距離便となります。スタッフとチームメンバーは、短距離のフライトはすべてエコノミーを利用してください。それ以外のフライトでも、エコノミーを最初の選択肢として考えるべきです。

ファンと訪問者・観衆

イベント・大会に来るファンや来場者、および世界陸上競技連盟事務局でのミーティングには、持続可能な移動を推進・伝達してください。また、ファンや訪問者が自身の移動に責任を持ち、補正できるように、地域や、それに関連するカーボンオフセット制度も確認してください。

移動距離や使用する交通機関の種類を入力すると、シンプルな排出量計算機で排出量が計算され、認定オフセットスキームで相殺するためのリンクが表示されるので、この選択を簡単にすることができます。

このベストプラクティスは、次のようにイベントプラン作成サイクル全体で実施されます：

1. イベントプラン作成

- イベントスタッフの移動に伴う二酸化炭素の影響を最小限に抑えるため、イベントスタッフの移動階層に従った、全体的な移動プランを作成する
 - 出張の必要性を批判的に評価し、不必要な出張を避けるために、共同会議プラットフォーム、ビデオ、その他のメディアを使用する
 - 移動が必要な場合は、エコノミークラスのフライト、空港からの公共交通機関など、炭素効率の良い移動手段を選択する。
- ファンや訪問者、選手、パートナーを含む関係者には、「活発な移動」と公共交通機関のリンクを、それに関連するコミュニケーションプラットフォームを通して知ってもらい、すべての手段/時刻表を伝達する
- チケットの販売過程でファンや観客とコミュニケーションをとり、チケット販売時に移動・旅行データと情報を取得する
- カーボンオフセットプログラムを特定し、伝達する（できればイベント関連のもの）
 - 事例に従い、炭素の影響を補正する
 - 移動に関する炭素の影響をすべての関係者に伝達して補正・再考してもらってください。
- その国の政府や運営者と協力して十分な公共交通機関を確保する

2. イベント開催

- 公共交通機関の利用を促進する機会を提供する（例：バス・鉄道の乗車券でコーヒーが無料になるなど）
- 炭素の影響、移動手段の選択理由、コミュニケーションプランの有効性を評価するために、移動オプションと距離を決める訪問者調査を実施する

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

- 交通事業者（当初の調達契約に含まれていることを確認）、駐車場、駐輪場から他の種類の旅行・移動データを収集する

3. イベントの総括と評価・反省

- データを収集してプランの成功度を評価してください。例：
 - 公共交通機関を利用した人数
 - 現場の自動車数
 - 駐輪場の利用者数
 - イベントの合計来場者数
- チケット販売業者、通信・コミュニケーション会社、輸送業者と協力し、イベント後の評価ミーティングと報告を行う
- 改善点を特定する

世界陸上競技連盟事務局への公共交通機関のリンク例

タイプ	組織	ウェブリンク
バス	Compagnie des Autobus de Monaco	https://www.cam.mc/en
Bateau bus	Compagnie des Autobus de Monaco	https://monaco-navigation.com/bateau-bus-tarif-monaco.html
Train		https://www.visitmonaco.com/en/7547/access-by-rail
電気自転車	モナバイク	https://monabike.mc/
タクシー/電気タクシー	Taxi Monaco (アプリ)	https://apps.apple.com/gb/app/taxi-monaco/id1032394857 https://www.taximonaco.com/
カーシェア	Mobee	http://www.mobee.mc/en/

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

9. 宿泊施設

環境へのマイナス影響を減らし、社会への貢献度を増やすには、商品やサービスを適切に選択する、すなわち、持続可能な調達プロセスにてそれらを達成することができます。

宿泊施設はそのようなサービスのひとつであり、エネルギー管理、廃棄物処理、食料供給、現地スタッフの配置、スタッフの多様性、健康・幸福などの影響を考慮した上で、施設を選定する必要があります。しかし、これらは見た目には難しい選択に思えるかもしれません。それでも、「グリーンホテル (green hotel)」の認証制度は数多く存在します。自炊は認証制度で評価される可能性は低いですが、自炊設備は、洗濯や共同スペースの冷暖房などとともに、特に多人数で住む場合は、長期にわたってエネルギーが集約する可能性があります。



Sustainable Accommodation	持続可能な宿泊施設
Energy Efficiency	エネルギー効率性
Active Travel	活動的な移動
Local Food Sourcing	現地食品調達

Legal Compliance	法律順守
Certification	認定
Sustainable Procurement	持続可能な調達
Renewable Energy	再生可能エネルギー
Water Management	水分管理
Zero Single-use plastic	プラスチック (ビニール) の 1 回限りの使用をゼロに
Diversity & Inclusion	多様性と包含性
Waste Management	廃棄物管理
Shared Occupancy	共有建築物



High Carbon	高炭素
Hotel	ホテル
Eco-Hotel	エコホテル
Self Catering	セルフケータリング
Low Carbon	低炭素

宿泊施設を選ぶ際には、すべての面を考慮する必要があります。ホテル環境の場合、多くの面が提供者の管理下に置かれ、イベントチームの企画コーディネーターが選択権を持つことになります。

このベストプラクティスは、次のようにイベントプラン作成サイクル全体で実施されます：

1. イベントプラン作成

- 全スタッフを対象とした宿泊プランを作成し、宿泊数の効率を最大化する
- 検討中の宿泊施設の検索・選択：

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

- グリーン基準、認定宿泊施設、認定マーク取得施設など。
<http://www.greenhotelier.org/know-how-guides/know-how-guide-to-sustainable-hotel-certification-schemes/>
- 車やタクシーの使用を制限し、公共交通機関、徒歩、自転車のいずれかを効果的に利用できるよう、会場に近い場所にしてください。
- 持続可能な食品基準のあるホテル
- 雇用基準の高いスタッフががいるホテル（これには地元の認定スキームが存在？）
- 選択したホテルがボトル入り飲料水を提供していないか注意してください - ろ過されていない限り、飲料水は提供できません。
- ホテルとの交渉・契約には、持続可能性に関する追加要件を規定することができます。例：使い捨てのシャワーキットや使い捨ての備品を排除し、清掃時間を短縮して、使い捨てのプラスチックを提供しないようにするなど。
- イベントスタッフおよび選手に持続可能性へのコミットメントを伝える（旅行・移動のヒント一覧を含む）。これには次の内容が含まれます：
 - 使用しないときや部屋を出るときは、照明やテレビ、携帯電話・iPadの充電器などの機器を消す
 - 最も持続可能なレストラン、カフェなどのリスト（肉類を使わない近隣から調達する、持続可能な交通手段を使う、など）を含める。
 - エネルギー/温度管理：「快適な」室温、エアコン OFF
- 衣類をまとめて洗い、洗濯物を減らす（ブランド品にはあらかじめ名前をつけておく）、持続可能な洗濯サービス業者を利用する（化学薬品の使用制限など）
- タオルやシーツは必要ときだけ洗濯するよう、スタッフ、選手に呼びかける

2. イベント開催

3. イベントの総括と評価・反省

- 異なるタイプの宿泊施設での総宿泊数を集計する
- イベント期間中に利用があった交通手段に関するデータを収集し、スタッフの移動による二酸化炭素排出量を削減するために宿泊施設が適切に選択されたかどうかの有効性を報告する
- イベント後の評価ミーティングを開き、達成度と教訓を把握する

10. カーボンニュートラル

地球規模での炭素排出の加速による気候変動は、海洋酸性化、食物連鎖の崩壊、「異常」気象、住宅や生息地の破壊、海面上昇などの影響をもたらし、地球上のすべての人に影響を及ぼす地球規模の問題です。

世界陸上競技連盟は、気候変動対策の重要性と、それが陸上競技や人々の健康、幸福に与える影響について認識しています。陸上競技、特に大会となると、二酸化炭素排出量が多くなります。しかし、エネルギー源を自然エネルギーに変える革新的な技術を取り入れ、活用し、導入する機会も増えています。炭素排出が深刻な分野は以下の通りです。それ故に炭素削減ステップとして以下の分野に焦点を当てるべきです：

1. 移動
2. エネルギー消費
3. リソース
4. 食料と飲料
5. 廃棄物

このベストプラクティスは、次のようにイベントプラン作成サイクル全体で実施されます：

1. イベントプラン作成

- 最大の炭素排出量を特定し、排出量削減のための行動の優先順位付けに役立つ
- 具体的な目的、目標（データがある場合はベースラインデータに基づく）、KPI、行動を詳述し、モニタリングと報告要件も記載した炭素削減プランを作成する
- 特定範囲の炭素排出を正味ゼロにするために、関連するカーボンオフセット（補正）プログラムを特定し、それに取り組む

- チケットプログラムには、選択したオフセットプログラムへのリンクを掲載し、来場者がイベントへの移動に伴う炭素の影響を相殺できるようにする
- LOC に炭素削減プランとベストプラクティスを説明・教育し、全員が目標と役割・責任を把握できるようにする
- 炭素モニタリングの要件が、すべての入札、契約文書に詳細に記載されていることを確認する
- 移動・旅行・交通に関するポリシー（モニタリングや報告要件、プロセスを含む）を予約前に決める
- 開催都市・会場と連携し、目標達成に役立つパートナーシップや既存のイニシアティブを活用して、開催都市・会場にコミュニケーション・プラットフォームを提供する
- 共同パートナーシップを通じて、革新的な二酸化炭素削減/ゼロ炭素技術を紹介する
- すべてのサプライヤーと請負業者に炭素削減目標を持たせ、影響を最小化するための賛同を得る
- 健康を害さない公共交通機関の選択肢をすべての関係者に伝える
- カーボンニュートラルに関するキャンペーンの宣伝・参加プランを作成し、イベントへの取り組み意識を高め、スムーズな行動を促進するベストプラクティスを利害関係者と共有する

2. イベント開催

- すべてのスタッフは、具体的な行動や取り組み、エネルギー消費量削減のために行うべき定期的なチェックとその責任について、教育を受ける
- エネルギー消費量を削減するためのベストプラクティスをすべての関係者が実践するよう、目につく場所（BOH および FOH）で奨励する（例：照明の消灯、機器のプラグを抜く、夜間に機器の電源を切る……）

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

- イベントディレクター、または指定されたスタッフは、毎晩イベント会場を離れる前に、可能な限りすべての照明/機器/発電機などの電源がオフになっていることを確認する

3. イベントの総括と評価

- イベント終了後、すべてのパートナー、請負業者、サプライヤーと「評価/反省」ミーティングを行い、イベント主催者がすべてのデータを受け取ったことを確認し、成果と教訓を共有して、継続的な改善を行えるようにする
- 改善すべき点があれば、イベント後の社内評価会議で（行動とともに）文書化し、イベント終了後の報告書に反映させる

11. 大気の状態/大気汚染 (度)

大気汚染は健康と気候の両方にとって大きな脅威となっています。世界保健機関 (WHO) の[最新データ](#)によると、10人中9人が高レベルの汚染物質を含む空気を吸っており、大気汚染に関連する死亡の90%以上は、主にアジアとアフリカの低・中所得国で発生していることが分かっています。大気汚染は、汚染された空気に含まれる微粒子が肺や循環器系の奥深くまで入り込み、脳卒中、心臓病、肺がん、慢性閉塞性肺疾患、肺炎をはじめとする呼吸器感染症などの病気を引き起こし、毎年約700万人が死亡すると推定されています。

大気の状態は地球の気候および世界の生態系と密接に関連しています。大気汚染を引き起こす要因 (化石燃料の燃焼など) の多くは、同時にCO2排出量が多い原因でもあります。オゾン24やブラックカーボンなど、一部の汚染物質は短期で消える気候汚染物質ですが、気候変動に大きく影響し、農業生産性にも影響を与えます。

大気汚染を減らすための行動や政策は、気候変動と健康の両方にとって「ウィンウィン」の戦略でなければなりません。また、大気汚染に起因する疾病の負担を軽減し、気候変動を短期および長期的に緩和するものであるべきです。

世界陸上競技連盟が所有する世界陸上シリーズ (WAS) の大会や世界陸上公認の大会は、地域の交通に大きな混乱をもたらすことがあり、その結果、大気の状態の問題を高める可能性もあります。世界陸上競技連盟は、大気の状態を監視および/または改善するために、英知のある計画とイニシアチブを統合し、選手、世界陸上関係者、ファン、地域社会にとって健康的な環境を作り、保護します。

イベントを企画する際に考慮すべき点は、次の4つです:

1. 場所/ロケーション
2. 交通量の削減
3. 食品の準備
4. 使用エネルギーの供給源

このベストプラクティスは、次のようにイベントプラン作成サイクル全体で実施されます:

1. イベントプラン作成

• 場所/ロケーション

イベントで大気環境に最も大きな影響を与えるのは、開催場所です。場所を選ぶプロセスで検討すべき3つの事項があります:

- 候補地の大気状態指標 (AQI) を調べることができるウェブサイトを探してください。平均 AQI 値が 50 以下の地域を選んでください。
- 道路、工場、農産物加工場は避けてください。
- 高台にある場所を選ぶと、汚染レベルが低い傾向にあります。同様に、樹木や植物に囲まれた場所は、その地域の汚染物質の排出を受けずに済みます。

• 大気の状態 (汚染度) モニタリングシステムを確立する

- 大気の状態をモニタリングする際は、国際陸上競技連盟のアドバイスやガイダンスを受けてください。グローバルな作業を通してモニタリングをサポートしてくれます。

• 交通

イベント開催時に交通量を減らし、その影響を最小限に抑えるための、次のような戦略があります:

- 交通量の多い時間帯を避けてイベントを行うことで、混雑を緩和できます。
- イベントゾーン又はその付近は駐車禁止にしてください。駐車場の利便性を高めることで、排出ガスの大幅な削減を実現し、公共交通機関の利用を促すことができます。
- すべての車両、または最も汚染度の高い車両に道路通行料を課し、その資金で低排出ガス地帯または大気汚染防

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

止地帯を作ってください。排出量が多ければ、関税は高くなります。

- 最も汚染度の高い自動車、またはすべての内燃機関自動車を禁止します。内燃機関（ICE）車を禁止し、電気自動車を許可すれば、環境に配慮した来場者を優先することになり、将来的に電気自動車やハイブリッド技術者を購入を促せるようになります。
- イベントで最も大気の状態を高く保つには、開催区域ですべての車両を侵入禁止にすることです。すべての車両を禁止することで、来場者に空気がきれいな環境がいかに良いかを示すことができ、また健康的なライフスタイルと活発な移動を促すことができます。

● 食品の準備

食品の調理は、地域の大气環境に大きな影響を与える可能性があります。イベントに参加する人が多ければ多いほど、潜在的なリスクは大きくなります。調理による排出を抑える5つの方法：

- 調理時間を短縮するために、できるだけ現地で下ごしらえをしてください。
- ケータリングエリアは、観客席や選手エリアから離れた、大会/イベント会場の隅の位置に配置してください。
- 固形燃料や炭による調理はしないでください。
- 抽出ユニットにはフィルターを使用してください。抽出ユニットでは、競技者や観客が排気の影響を受けないようにしてください。
- ケータリング業者がディーゼル発電機に頼らずに済むよう、クリーンエネルギーを供給してください。

● 使用すべきエネルギー供給源

イベントには、どうしても電源が必要です。エネルギー需要、そしてその電力を得るための方法は、地域の大气環境に大きな影響を与える場合があります。使用可能な電力源には、現場以外で生産されるエネルギーと現場で生産されるエネルギーがあります。現場以外でのエネルギーは、再生可能エネルギーや化石燃料を含む主電源と呼ばれることが多く、現場でのエネルギーは、一般的に仮設電源と呼ばれています。

- 現場以外：再生可能エネルギー（Mains Renewable）とは、風力、太陽光、潮力などのエネルギーを利用し、国や地域の電力網から購入した電力のことです。主な利点：再生可能エネルギー源は、大気の状態への影響がわからないほど小さいです。運営を行っている国が再生可能エネルギーを供給していない場合、代替案として再生可能エネルギークレジットを購入できる場合があります。
- 現場以外：化石燃料。ほとんどの国で、主電源は、石炭などの化石燃料を燃やして作られています。これらは大気中に二酸化炭素を放出しますが、発電機を使うよりはるかに効率的です。イベントの近くに発電所がほとんど見られないため、地域の大气環境が改善されます。
- 現場：水素化分解植物油。水素化分解植物油は、バージンオイルと廃油の両方から作ることができます。メリット：化石ディーゼルと同一の化学組成を持つ無色・無臭の均質な燃料で、ヨーロッパでは広く普及しており（北米でも普及が進んでいる）、温室効果ガスの排出を最大90%削減できるため、運用面での負担を大幅に軽減することが可能です。デメリット：赤色ディーゼルよりもかなり多くの費用がかかります。
- 現場：FAME - WVO。FAMEとは、「Fatty Acid Methyl Esters（脂肪酸メチルエステル）」の頭文字をとったもので、

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

再生可能燃料の一種です。FAME WVOs 燃料は、植物性廃油を原料としています。メリット：無毒で汚染物質を排出しません。ヨーロッパで広く利用されており（北米でも利用が進んでいる）、廃棄物を利用することでイベントの二酸化炭素排出量を削減することができます。デメリット：バイオディーゼルの使用経験が浅いと、発電機のトラブルにつながる可能性があります。

- 現場：FAME - ヴァージン燃料、またはヴァージン植物油から作られた燃料。燃料にするために特別に植物を栽培します。メリット：無毒で汚染物質を排出しません。ヨーロッパで広く利用されています（北米でも利用が進んでいる）。デメリット：バイオディーゼルの使用経験が浅いと、発電機のトラブルにつながる可能性があります、生産方法によっては多くのダメージがある可能性がある。
- 現場：FAME - ブレンド/混合。「赤色ディーゼル」と FAME を組み合わせた燃料。純粋な赤色ディーゼルよりも環境にやさしいですが、大気への影響は赤色ディーゼルと依然変わりありません。
- 現場：赤色ディーゼル：赤色ディーゼルは、農業用と非車両用にとって安価なディーゼルで、通常のディーゼルに色素を添加したものです。発電機では広く普及していますが、他の選択肢と比較して大気や環境に与える影響が最も大きいです。

2. イベント開催

- 大気質のモニタリング
 - 競技中の選手の空気（大気）の質をモニタリングし、その質のレベルが、合意したしきい値を超えた場合に、選手と観客の健康を守るための措置をとれるよう計画を立てる

- 仮設電源業者が発電機のフィルターや排気を監視し、黒煙などがいないか確認する。
- すべての交通対策が実施されていることを確認する
- ロードレース - コースマーシャル
 - スポンサーやパートナーと協力して、ロードレースのコースに低排出ガス車、電気自動車、水素自動車を提供し、選手や観客のために不必要な排出ガスを排除する
- スタジアムやレース会場の周辺に低排出ガスゾーンを設定してください。
 - 自治体や開催都市と協力し、スタジアムやレース会場周辺に一時的・試験的な低排出ガス地帯を設けます。街全体、あるいは屋外スポーツやレクリエーションで排気ガスを出さないようにしている地域において、上記を低炭素交通を推進するためのパイロットとして利用する

3. イベントの総括と評価

- 大気質モニタリングデータを収集し、開催都市・開催地とのイベント後の「総括」ミーティングで評価する
- 将来のイベントのために大気質のモニタリングユニットを現場に残し、市全体で情報を共有できるようなものを考える
- 実施措置の効果を検証し、都市住民の健康と福祉を向上させるために、恒久的な低排出ガス地帯を設けるよう開催都市にすすめる
- 改善すべき点があれば、イベント後の社内評価会議で（実行例とともに）文書化し、イベント終了後の報告書に盛り込む

世界陸上競技連盟には5億人以上のランナーがいるため、大気汚染が健康に与える影響について世界的な認識を高める独自の立場をとる

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

ことができます。2020年4月に発表した持続可能性戦略では「地域環境と大気」を6本柱の1つとしました。世界陸上連盟の大気品質プロジェクトについての詳細は、[こちら](#)を参照してください。

12. 多様性、アクセシビリティ、包含性

地理、政治、宗教に関係なく、誰もが差別や暴言、身体的虐待を受けることなく、あらゆるレベルのスポーツの成果を助長する環境の中で、陸上競技に参加できる平等な権利を有します。私たちの世界、スポーツ、陸上競技に、差別は存在しないのです。

イベント主催者としては、イベントを通じてあらゆる形態の差別を防止し、また、イベントで差別を受けた人、イベントに関連する人、差別を目撃した人が問題を提起し、その問題が真剣に扱われるためのプラットフォームを提供する責任が私たちにはあります。世界陸上競技連盟は、走ること、跳ぶこと、投げることが普遍的に楽しめるように、加盟連盟を通じて、ベストプラクティスのガイドラインを提供し、運動への影響力を高めていきます。

すべてのイベントに誰もが参加でき、陸上競技が「すべての人に開かれている」ようにすることは、極めて重要です。地域、国、国際、世界を問わず、あらゆるレベルの社会のあらゆる人々を魅了することは、スポーツが持つ団結力の証しです。特に国際的なイベントにおいては、スタッフが文化を敏感に感じとり、尊重することが重要です。

以下のチェックリストは、アクセシビリティのあらゆる面を網羅し、ベストプラクティスに従う際に役立つはずです。

このベストプラクティスは、次のようにイベントプラン作成サイクル全体で実施されます：

4. イベントプラン作成

- すべての法規制を把握し、遵守する
- 平等と多様性の人事方針は、差別を防止し、何らかの差別を受けた、または差別を目撃したと思われる状況でスタッフが問題を提起するためのプラットフォームとして役立ちます。多様性、アクセシビリティ、包含性は、イベントスタッフ、技術関係者、請負

業者、ボランティアを含むすべての人材を採用する際の核となるものです。

- 次の特性のない状態は、平等法（英国）において「保護特性」と呼ばれ、確固とした平等および多様性の方針の中で説明されています：年齢、障害、性別、結婚と市民パートナーシップ、妊娠と出産、人種、宗教と信仰、性別、性的指向。
- 地域の不利な立場にある社会団体を取り込み、刺激のあるプログラムを実施してください。例：チケット割り当て、「優勝者とチャット」…
- ウェブサイトや予約サービスにはアクセシビリティ機能があり（例：minicom など?）、さまざまなアクセス方法を提供していますか？
 - 予約フォームには、個別の具体的な要望を開示する機能がある
- 会場内で利用できる施設（障害者用の施設や手配を含む）の情報が公開されている。これには次が含まれます：
 - 車いす使用者/移動・動作が困難な人
 - 視覚障がい者/盲人
 - 聴覚障がい者/耳の不自由な人
- 標準的なアクセシビリティのフレーズとロゴを広報物に掲載する
- すべての公共エリアは車椅子でアクセス可能にする
- 会場には、適切な大きさと標示のある障が者用駐車場を用意する
- 車いす利用者専用の座席の有無、介助者用の座席の有無を確認する
- すべての来場者が安全かつ容易に会場内を移動できるようにする
 - 歩く場所はしっかりしていて、障害物がないか？
 - 13mm以上の段差がある場合、傾斜や突起がないか？
 - 移動が困難な人のための定期的な休憩所はあるか？
 - 床に滑り止めがあるか？

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

- 最適な道順、具体的なアクセス機能、衛生施設を示す移動マップが利用可能か？そのマップには点字が付いているか？来場者マップは大きな文字で書かれているか？
- さまざまな障がい・特性を持つ人々のための避難経路/危険回避の緊急手順が整っています。
- スタッフ/スチュワードは上記について説明を受けている
- 動画コンテンツ（会場、メディアの画面）に字幕を表示する

改善すべき点があれば、イベント後の評価会議および報告書に反映し、（行動とともに）文書化する

5. イベント開催

- すべてのスタッフ、ボランティア、請負業者などは、イベント期間中、地元の文化や社会習慣・性質を尊重するよう説明を受けてください。
- すべてのスタッフとボランティアにアクセシビリティの計画について説明し、その責任を明確にする
- 必要であれば、スタッフ/ボランティアが見学者を案内することはできますか？
- 標識はガイダンスに準拠し、すべての利用者に便利な高さに設置する
- アクセシビリティ計画が正しく効果的に機能していることを確認するために、定期的なチェックと監査プログラムを実施してください。適合していないものを報告し、記録をとり、必要に応じて是正措置をとってください。
- 車椅子での移動ができるように座席を配置する、バリアフリー施設への移動をやすくする

6. イベントの総括と評価

- イベント開催期間中、スタッフ、ボランティア、一般市民からのフィードバック（ポジティブおよび建設的なもの）を収集する

13. 健康、安全、幸福

イベント主催者は、合理的に実行可能な場合において、従業員、イベントスタッフ、請負業者、サプライヤー、選手、来場者、ファンを含むすべてのイベント参加者が、健康と安全がリスクにさらされないよう、イベントの全段階を通じて全体的な安全を維持する責任を負います。

すべてのイベント主催者は、イベントの健全性と安全に関して、次のような義務を負います：

- リスクをコントロールするための安全衛生方針（ポリシー）と取り決めを持つ
- 方針を確実に実行するためのプランを立てる
- 業務活動に協力し、適切な調整を行う
- 従業員およびその他の人々の健康と安全を脅かす、あらゆるリスクに関する適切な情報を提供する
- イベントスタッフが安全に役割を果たせるよう、その能力を担保する
- 安全衛生のパフォーマンスとコンプライアンスをモニタリングする
- 安全衛生パフォーマンスを監査・評価する

安全衛生の文章化

イベント安全プランには以下を含める必要があります：

イベント管理プラン： イベントの包括的な概要と、イベントを実施する際に全体の安全性を保つ方法を定着させるよう枠組を作成する

リスクアセスメント： イベントに影響を与える可能性のある潜在的な危険性、リスクを排除・最小化するために管理・対策する

緊急時対応プラン： これは、安全衛生上のリスクおよび/または発生しうるその他の緊急事態に効果的かつ効率的に対応するプランです。

計画や準備の一環として「イベント安全プラン」を作成することは、適切な安全衛生手順を実施するために不可欠であり、また、これは事故から生じる法的紛争の場合に必要となることもあります。

安全衛生リスクの効果的な管理および監視は、イベントの準備、搬入、提供、解体、搬出を含め、イベント全体を通じて実施されなければなりません。これには以下が含まれます：

管理

イベントの各段階において、安全衛生のリスクを確実に管理するために、適切な管理システムを導入してください。イベント期間中の現場人数は格段に増えていきますが、建設・組み立て、搬入、解体、搬出時の安全管理の必要性も同様に重要です。

調整/コーディネート

イベント会場内のすべての作業活動の協力と適切な調整を行ってください。

情報

リスクアセスメントで特定された健康や安全に対するリスクについて、イベントの従業員や請負業者を含むその他の人に関連情報を提供してください。すべての請負業者は、その従業員に対して同じことをする必要があります。

能力

スタッフは、自分の役割を安全に遂行できる能力を備えていなければなりません。また、リスク、作業の性質、関係者に見合った、適切なレベルの有能な監督者がいなければなりません。

モニタリングと評価

合意によるリスク管理方法は、それが機能し、遵守されていることを確認し、審査する必要があります。イベントのリスクアセスメン

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

トでは、チェックの頻度、責任の分担、方法の詳細を規定する必要があります。

イベント主催者として、皆さんは従業員、役員、選手、イ参加者の幸福・健康、行動、文化を守る責任があります。それには、イベントとの関わりを通して人々が健康で安全であるために集中して支援することが必要です。

このベストプラクティスは、次のようにイベントプラン作成サイクル全体で実施されます：

1. イベントプラン作成

- 安全衛生に関する規制を熟知し、遵守する
- イベント主催者は、イベントを実施するためにすべての関連する保険に加入し、関連する第三者保険証書のコピーを保持しなければなりません。
- 自治体、地域組織委員会、救急隊、イベント主催者、その他の関連団体の代表からなる安全顧問団体（SAG）を設置します。
- 安全衛生のすべてのドキュメント/書類を完備する
- すべての請負業者/サプライヤーは、安全衛生の責任を認識する
- プロジェクトプランは、構築、搬入、配信、搬出、解体を通じて、協力的かつ協調的な作業プログラムを促進する
- プロジェクト計画では、適切な休憩時間や休息を確保し、関連するすべての「労働時間」法令と自社の雇用方針を遵守してください。
- 選手の幸福・健康記録を作成し、通常の参加要領やイベント情報に加えて、選手の幸福・健康を特に促す情報を記載して配布してくださいこれには以下が含まれます：
 - 気象条件、高度、湿度、大気質、時差の影響などの環境要因.....
 - イベント期間中に利用できる幸福・健康サポートとその利用方法

- 参加前医療評価（PPME）の重要性
- トレーニング施設の利用、アクセス
- 薬物検査手順

2. イベント開催

- すべてのスタッフは、イベントでの作業を開始する前に、現場観察とブリーフィングを含む安全衛生に関するトレーニングを受ける
- 毎日ミーティングを開き、現在の作業段階、主要な日々の活動/スケジュール、環境への配慮、健康と安全への配慮を明確にする
- イベント参加者に関連する安全衛生情報が、適切な方法で会場全体に伝達し、すべての人が利用できるようにする
- イベント安全計画が正しく効果的に機能していることを確認するため、定期的な健康・安全チェック/監査プログラムを実施してください。遵守していない場合は、報告・記録し、必要に応じて是正措置をとってください。
- 選手の幸福・健康支援を簡単にできるようにする
- 選手の健康を守るため、定期的な健康評価（PHE）プログラムを実施する
- 地元の陸上競技界とともに、定期的な運動が健康にもたらす効果や、健康的なライフスタイルを向上させる陸上競技への参加について認識を高めるために、現場で活動を行ってください。
 - 例：「体験」セッション、走行・歩行分析、選手のためのヨガ

3. イベントの総括と評価

- 継続的な改善のための評価と報告で、遵守されていないものがある場合を含み、安全衛生チェック/監査からの出力を照合する
- 選手の幸福・健康支援の理解度に関する匿名データを収集する
- SAG デブリーフィングを開催し、すべての教訓を把握する

14. デジタル、知的財産権、データ保護

データ保護

デジタルトランスフォーメーションは、データの持続可能な利用に関して、企業に責任ある対応を迫っています。デジタルの世界では、製品の持続可能性とは、環境やユーザーにとって良い製品であることを意味し、これはハードウェアとソフトウェアの両方に関連するものです。例えば、監視カメラシステムからの情報漏洩（リスクまたは実際の）は、心理的、あるいは物理的な被害をもたらす可能性があります。ソフトウェアに関しては、プライバシーの持続可能性は、その設計プロセスの中核として位置づけられるべきです。ユーザーは、サービスを受けるためにアプリやプロバイダーにデータを提供しますが、それはプロバイダーを信頼しているからで、自分のデータが非倫理的に利用されることを予想してはいません。ユーザーの個人情報が、偶発的であろうとなかろうと、ほとんど管理されずにデジタル世界に分散することは、個人と社会の幸福に影響を及ぼします。

一般データ保護規則（GDPR）は、個人データの合法的な処理に関する次の7つの原則を定めています：

1. 適法性、公正性、透明性
2. 目的制限
3. データ最小化
4. 精度
5. ストレージ制限
6. 統合と機密性
7. 責任

すべてのイベント主催者は、イベントスタッフおよび第三者の情報を含め、機密情報および個人情報の保護に尽力しなければなりません。また、イベント主催者は、世界中で適用されるプライバシーに関する法律や規制を確実に遵守し、プライバシーに関する法律や規制の変更を定期的に監視して、必要に応じてポリシーや手順を調整

しながら、コンプライアンスをサポートするために規制や法的要件を継続的に監視することに取り組む必要があります。

知的財産

知的財産（IP）とは、資産や物的財産として扱うことができる創造的な作品を指します。知的財産権は、主に次の4つの分野に分類されます：

- 著作権 - 記録された芸術作品や文学作品に適用され、著作者に作品に関する特定の権利を与え、無許可の行為を禁止し、侵害や盗作の事例に対して法的措置を取ることを可能にします。
- 商標 - 市場での混乱を防ぐことを目的としています。商標は、商品または組織を識別するための名称、単語、スローガン、デザイン、シンボル、またはその他の独自の機器などです。文字通り、「取引するためのマーク」です。
- 意匠権 - 物理的な製品に適用され、製品の外観、特に形状、質感、色、使用材料、輪郭、装飾などにある権利です。
- 特許 - 産業プロセスや発明に適用され、発明の不正な利用を防止します。

イベントのIPを保護し、イベント配信によるIP法違反（例えば、著作権で保護された音楽の無許可使用など）を回避するために、関連するすべてのエンターテインメントライセンス法を遵守し、必要なすべてのライセンス/許可を取得することが不可欠です。

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

このベストプラクティスは、次のようにイベントプラン作成サイクル全体で実施されます：

1. イベントプラン作成

- すべての公共エンターテイメント法およびライセンス要件を理解し、それを遵守することで、法令を確実に遵守してください。
- 関連する商標がすべて適切に配置されていることを確認し、自社/イベントのブランドを保護するために法的助言を得る
- 個人情報および機密情報に関わるすべての関係者は、すべての機密情報および専有情報を保護するための機密保持契約に署名する
- 個人情報の安全性を保つために、GDPR およびその他現地のデータ保護法に準拠したシステムとプロセスを導入する

2. イベント開催

- スタッフおよびサプライヤーは、イベントのライセンス/許可に定められたパラメータに従ってエンターテイメントプログラムを提供します。
- 遵守していない場合は、報告・記録し、是正措置を取る必要があります。

3. イベントの総括と評価

- イベント後の評価で、コンプライアンス違反の問題やプロセス改善のための推奨事項を把握し、記録する

15. モニタリングと報告

持続可能性戦略を継続的に成功させるには、モニタリング、進捗状況の確認、オープンな報告が不可欠です。これらは、より大きな成果を生み出す原動力となるでしょう。事業活動全体において、透明性と誠実さへの明確なコミットメントを示すことで、ブランドの評判の構築、保護、維持ができるようになります。世界陸上競技連盟の年次報告書は、国際財務報告基準に沿って独立監査された財務諸表を含み、より高い透明性を実現するための継続的な努力の一部となっています。持続可能性報告書は、確立が進んでいるプロセスであり、幅広い企業報告（該当する場合）の一部として、または独立した報告書として提供することができます。陸上競技大会は、進捗状況を評価し、重点的に取り組むべき行動領域を特定し、継続的な改善を推進するためのベストプラクティスとして、大会報告書を作成する必要があります。

目標達成に対する進捗を測定・追跡するための指標は、イベントスタッフ、現地組織委員会、サプライヤー、開催地などのイベント関係者全体で収集する必要があります。提案された測定基準は、容易に入手できる、あるいは比較的容易に収集できる情報、およびデータについて検討し、整合させなければなりません。

モニタリングの目的は、優先事項、進捗状況、目標達成を阻む障壁を特定することです。KPIのモニタリングに関しても同様です。

このベストプラクティスは、次のようにイベントプラン作成サイクル全体で実施されます：

1. イベントプラン作成

- 目的、目標、測定可能な KPI の包括的なリストを作成し、チームメンバー全員に配布して明確化する
- モニタリングと報告の要件を、すべての調達・契約文書、およびプロセスに組み込み

- モニタリングと報告に関して、すべての関係者・担当者の責任を明確にする
- すべての活動を把握するために、イベント計画の初期段階からすべてのモニタリングプログラムを実施する
- 該当する場合、請負業者/サプライヤーへの最終支払いを添付してイベント後の報告書/契約データを提出する
- 来場者アンケートを作成する（および来場者アンケートの実施にリソースを割り当てる）

2. イベント開催

- すべてのサプライヤーと請負業者が要件を報告し、情報を収集してモニタリングプログラム全体でデータセットの把握に必要な相違と行動を特定できるようにする
- 必要に応じて来場者調査やイベント監査を実施し、車の台数、自転車での来場者、大気の状態の測定値などの関連データを収集する

3. イベントの総括と評価

- すべての利害関係者を対象にデータを収集、処理、解釈する
- イベント後のフィードバック会議
- イベント終了後、すべてのモニタリングデータをまとめた報告書の作成して、イベント前の目標の達成度を証明し、継続的な改善を促すための透明性の高いデータと推奨事項を提供する
- イベント報告書には、パートナーの持続可能性の成果を具体的に記述し、持続可能性の目標と合っているか、また協力的なパートナーシップの強みと権限を記載してください。
- イベントパートナー（会場、パートナー、メディアなど）と共有するイベント終了報告書

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

16. コミュニケーション

すべてのイベント担当者・スタッフは、ベストプラクティスへのアプローチを理解し、実施することで、模範を示す責任があります。そのためには、社員だけでなく、パートナー、サプライヤー、ファンにも持続可能性へのコミットメントを伝える力が必要です。

提案された行動指針について不明な点がある場合、提示されたアイデアが実用的でない場合、代替案を検討するための追加のサポートが必要な場合、またはもっと何ができるかについてさらなるアイデアがある場合は、イベントディレクター/持続可能性チームまでお知らせください。

コミュニケーション（伝達）目的

持続可能性へのコミットメントとベストプラクティスのコミュニケーション目的は以下の通りです：

利害関係者	コミュニケーション（伝達）目的
スタッフ/選手	<ul style="list-style-type: none"> 問題/焦点分野を確実に把握する ガイダンスに沿った提供を行う 外部のファン、パートナー、後援者に適切な言葉で伝える コミットメント/ベストプラクティスを明確に実証する
サプライヤー/請負業者	<ul style="list-style-type: none"> コミットメントへのサポートにどのような期待を寄せているかを認識・理解する 持続可能性へのコミットメントに沿ったメッセージを発信する ベストプラクティスに応じてイベント活動を支援・開催する 臨時スタッフとイベント期間の請負業者にわかりやすい説明を行う

スポンサー・後援者/パートナー	<ul style="list-style-type: none"> コミットメントへのサポートにどのような期待を寄せているかを認識・理解する 持続可能性へのコミットメントに沿ったメッセージを発信する ベストプラクティスに応じてイベント活動を支援・開催する 活動を加速させ、イニシアチブを広げる 影響を広める
イベント（大会）来場者	<ul style="list-style-type: none"> 環境へのマイナス要素を減らし、地域経済・社会的影響を最大限にするための取り組みを明確に示す 「命令」するのではなく、役割について理解してもらう
ファン	<ul style="list-style-type: none"> どのような行動ができるかインスピレーションを与え、理解してもらう 行動に影響を与え、サポートを集め、「ムーブメント」を作り出す
開催都市	<ul style="list-style-type: none"> 活性化プログラムを加速・拡大する 都市内で既存の持続可能性イニシアチブ/コミットメントにスポットライトを当てる 影響を広める ベンチマークと基準を設定して、開催都市/場所・地域・ロケーションで今後その他のイベントがある場合にイニシアチブを採用する
観客の増加	<ul style="list-style-type: none"> どのように行動を起こせばよいかを理解してもらい、インスピレーションを与える 行動に影響を与え、サポートを集め、大きな「ムーブメント」を作り出す 影響を広める

世界陸上競技連盟: 持続可能なイベント管理システムのベストプラクティスガイダンス

	<ul style="list-style-type: none"> 陸上界を通じて変化とイノベーションを促進する
--	--

異なる利害関係者へのコミュニケーション（伝達）方法

利害関係者	運営ガイダンス（内部、アプリ？）	調達コード/契約	現場メッセージ伝達、舞台表/舞台裏	ソーシャルメディア [国際陸上競技連盟]	ウェブサイト/イントラネ	陸上界の大会・イベント	発行者・発表/印刷媒体	パートナー/提携
スタッフ	●	●	●	●				
イベント臨時スタッフ&ボランティア	●	●	●					
選手	●	●	●	●				●
サプライヤー	●	●	●	●	●			
地元組織委員会	●	●	●	●				
イベント（大会）来場者			●	●	●		●	●
ファン				●	●		●	●
スポンサー・後援者/パートナー	●	●	●	●			●	●
加盟連盟			●	●	●	●	●	●
開催都市/会場			●	●	●	●	●	●
観客の増加/陸上界/スポーツ				●	●	●	●	●

このベストプラクティスは、次のようにイベントプラン作成サイクル全体で実施されます：

1. イベントプラン作成

- イベントのコミュニケーションプランに持続可能性のメッセージを盛り込み、持続可能性へのコミットメントと成果に関する認識と行動を促進する
- コミュニケーションプランには、利害関係者を組み入れ、持続可能性のコミュニケーション目的・目標を伝える
- 利害関係者に情報を提供するとともに、権限を与え、イベントに関与してもらうことで、持続可能性の意思決定を通じて影響を軽減します。例：移動についての選択、食品の選択…
- モニタリングと報告に関する確立されたメディア

2. イベント開催

- 現地の資産を活用し、影響を最小化する機会を多くする
- デジタルキャンペーンにより利害関係者を関与させ、イベント期間中に個々の持続可能性の行動や成果を共有できるプラットフォームを提供する
- メディアモニタリングを実行する

3. イベントの総括と評価

- イベント後のメディア報告・報道では、コミュニケーション戦略の有効性と、持続可能性のコミュニケーション目的の達成度を評価してください。